

検事に対する意識調査結果（概要）

1. 調査概要
2. 質問回答者の属性
3. 選択式質問に対する回答結果概要
4. 意識調査（自由記入欄）における主な意見

■ 調査概要

1. 調査対象

調査対象人数：検事 1, 444人

2. 調査の実施期間

平成23年2月14日（月）～2月28日（月）の15日間

3. 調査方法

回答者は、アンケート回収用Webサイトより無記名により回答

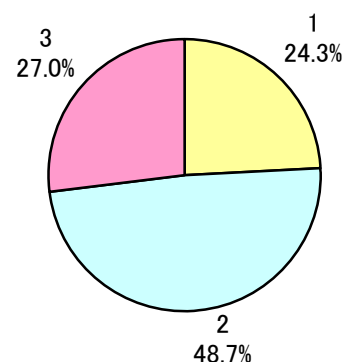
4. 回答数

1, 306人（回答率：90.4%）

■ 質問回答者の属性

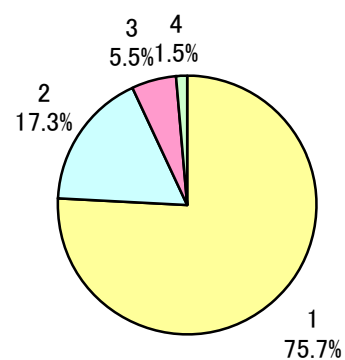
1. 経験役職

	回答人数	割合
1 副部長(経験者)又は次席検事(経験者)以上	317	24.3%
2 副部長又は次席検事未経験で勤務年数5年超	636	48.7%
3 勤務年数5年以下	353	27.0%
合計	1,306	100.0%



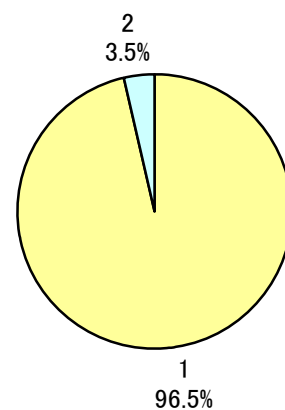
2. 検察官としての特捜部勤務の経験

	回答人数	割合
1 特捜部勤務経験なし	989	75.7%
2 特捜部勤務経験3年未満	226	17.3%
3 特捜部勤務経験3年以上6年未満	72	5.5%
4 特捜部勤務経験6年以上	19	1.5%
合計	1,306	100.0%

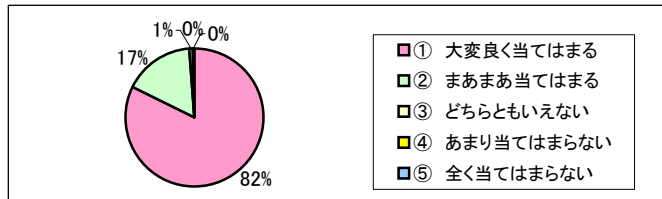


3. いずれの勤務歴が長い

	回答人数	割合
1 検察庁勤務	1,260	96.5%
2 それ以外(法務省・出向等)	46	3.5%
合計	1,306	100.0%



1. 日々の仕事において、自分は、事案の真相を明らかにし、刑罰法令を適正かつ迅速に適用実現することを第一の目的として判断や行動をしている



○全体

回答種別	割合
① 大変良く当てはまる	82.3%
② まあまあ当てはまる	16.5%
③ どちらともいえない	1.0%
④ あまり当てはまらない	0.1%
⑤ 全く当てはまらない	0.1%
平均値	1.2

《属性別》

○所属組織

	法務省	最高検	高検(8高検のいずれか)	東京高検管内の地検	大阪高検管内の地検	名古屋高検管内の地検	広島高検管内の地検	福岡高検管内の地検	仙台高検管内の地検	札幌高検管内の地検	高松高検管内の地検
平均値	1.1	1.0	1.1	1.2	1.2	1.2	1.2	1.2	1.2	1.1	1.2

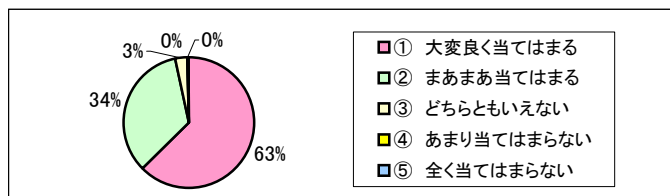
○経験役職

	副部長(経験者)又は次席検事(経験者)以上	副部長又は次席検事未経験で勤務年数5年超	勤務年数5年以下
平均値	1.1	1.2	1.3

○特捜部勤務経験

	特捜部勤務経験なし	特捜部勤務経験3年未満	特捜部勤務経験3年以上6年未満	特捜部勤務経験6年以上
平均値	1.2	1.1	1.1	1.0

2. 自分の周囲の人たちは、事案の真相を明らかにし、刑罰法令を適正かつ迅速に適用実現することを第一の目的として熱心に仕事に取り組んでいる



○全体

回答種別	割合
① 大変良く当てはまる	62.4%
② まあまあ当てはまる	34.2%
③ どちらともいえない	3.0%
④ あまり当てはまらない	0.2%
⑤ 全く当てはまらない	0.2%
平均値	1.4

《属性別》

○所属組織

	法務省	最高検	高検(8高検のいずれか)	東京高検管内の地検	大阪高検管内の地検	名古屋高検管内の地検	広島高検管内の地検	福岡高検管内の地検	仙台高検管内の地検	札幌高検管内の地検	高松高検管内の地検
平均値	1.4	1.6	1.5	1.4	1.4	1.5	1.4	1.4	1.3	1.4	1.4

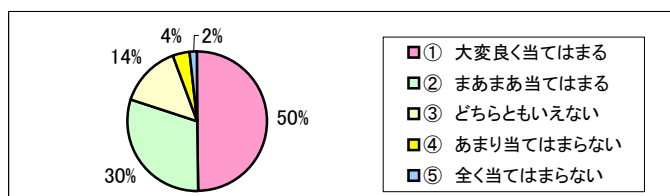
○経験役職

	副部長(経験者)又は次席検事(経験者)以上	副部長又は次席検事未経験で勤務年数5年超	勤務年数5年以下
平均値	1.4	1.4	1.4

○特捜部勤務経験

	特捜部勤務経験なし	特捜部勤務経験3年未満	特捜部勤務経験3年以上6年未満	特捜部勤務経験6年以上
平均値	1.4	1.4	1.3	1.3

3. 現在、自分が検察官であるということを、仕事以外の日常生活において、誇りを持って人々に話すことができる



○全体

回答種別	割合
① 大変良く当てはまる	49.8%
② まあまあ当てはまる	30.0%
③ どちらともいえない	14.5%
④ あまり当てはまらない	4.0%
⑤ 全く当てはまらない	1.7%
平均値	1.8

《属性別》

○所属組織

	法務省	最高検	高検(8高検のいずれか)	東京高検管内の地検	大阪高検管内の地検	名古屋高検管内の地検	広島高検管内の地検	福岡高検管内の地検	仙台高検管内の地検	札幌高検管内の地検	高松高検管内の地検
平均値	1.9	1.5	1.8	1.8	1.7	2.0	1.7	1.6	1.7	1.7	1.8

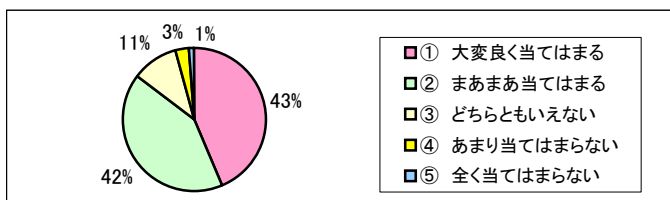
○経験役職

	副部長(経験者)又は次席検事(経験者)以上	副部長又は次席検事未経験で勤務年数5年超	勤務年数5年以下
平均値	1.6	1.9	1.8

○特捜部勤務経験

	特捜部勤務経験なし	特捜部勤務経験3年未満	特捜部勤務経験3年以上6年未満	特捜部勤務経験6年以上
平均値	1.8	1.7	1.6	1.5

4. 今の検察組織は、刑事司法のプロフェッショナルとして働く上で、魅力ある組織である



○全体

回答種別	割合
① 大変良く当てはまる	43.6%
② まあまあ当てはまる	41.7%
③ どちらともいえない	10.6%
④ あまり当てはまらない	3.0%
⑤ 全く当てはまらない	1.1%
平均値	1.8

《属性別》

○所属組織

	法務省	最高検	高検(8高検のいずれか)	東京高検管内の地検	大阪高検管内の地検	名古屋高検管内の地検	広島高検管内の地検	福岡高検管内の地検	仙台高検管内の地検	札幌高検管内の地検	高松高検管内の地検
平均値	1.8	1.6	1.7	1.8	1.8	1.9	1.8	1.6	1.7	1.8	1.6

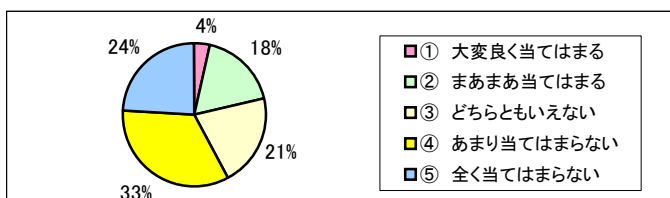
○経験役職

	副部長(経験者)又は次席検事(経験者)以上	副部長又は次席検事未経験で勤務年数5年超	勤務年数5年以下
平均値	1.6	1.9	1.8

○特捜部勤務経験

	特捜部勤務経験なし	特捜部勤務経験3年未満	特捜部勤務経験3年以上6年未満	特捜部勤務経験6年以上
平均値	1.8	1.7	1.5	1.6

5. 日々の仕事の中で、検察官としての自己の判断より、組織や上司への忠誠が優勢になったことがある



○全体

回答種別	割合
① 大変良く当てはまる	3.5%
② まあまあ当てはまる	17.8%
③ どちらともいえない	20.8%
④ あまり当てはまらない	33.8%
⑤ 全く当てはまらない	24.1%
平均値	3.6

《属性別》

○所属組織

	法務省	最高検	高検(8高検のいずれか)	東京高検管内の地検	大阪高検管内の地検	名古屋高検管内の地検	広島高検管内の地検	福岡高検管内の地検	仙台高検管内の地検	札幌高検管内の地検	高松高検管内の地検
平均値	3.8	3.9	3.9	3.5	3.5	3.5	3.6	3.4	3.5	3.7	3.8

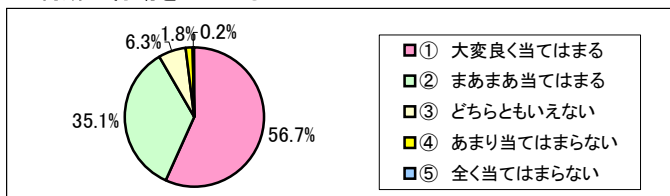
○経験役職

	副部長(経験者)又は次席検事(経験者)以上	副部長又は次席検事未経験で勤務年数5年超	勤務年数5年以下
平均値	3.9	3.6	3.2

○特捜部勤務経験

	特捜部勤務経験なし	特捜部勤務経験3年未満	特捜部勤務経験3年以上6年未満	特捜部勤務経験6年以上
平均値	3.5	3.8	4.0	4.2

6. 日々の仕事において、自分は、処罰すべき犯罪者を確実に処罰するという検察に対する社会の期待に応えることを強く意識して判断や行動をしている



○全体

回答種別	割合
① 大変良く当てはまる	56.7%
② まあまあ当てはまる	35.1%
③ どちらともいえない	6.3%
④ あまり当てはまらない	1.8%
⑤ 全く当てはまらない	0.2%
平均値	1.5

《属性別》

○所属組織

	法務省	最高検	高検(8高検のいずれか)	東京高検管内の地検	大阪高検管内の地検	名古屋高検管内の地検	広島高検管内の地検	福岡高検管内の地検	仙台高検管内の地検	札幌高検管内の地検	高松高検管内の地検
平均値	1.6	1.5	1.5	1.6	1.5	1.5	1.6	1.5	1.5	1.7	1.5

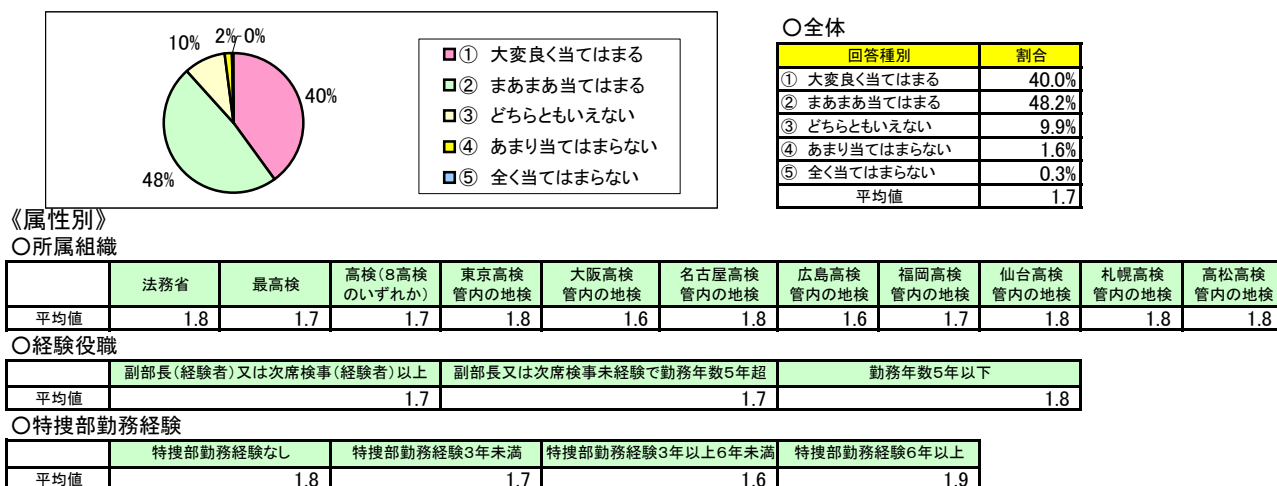
○経験役職

	副部長(経験者)又は次席検事(経験者)以上	副部長又は次席検事未経験で勤務年数5年超	勤務年数5年以下
平均値	1.4	1.6	1.6

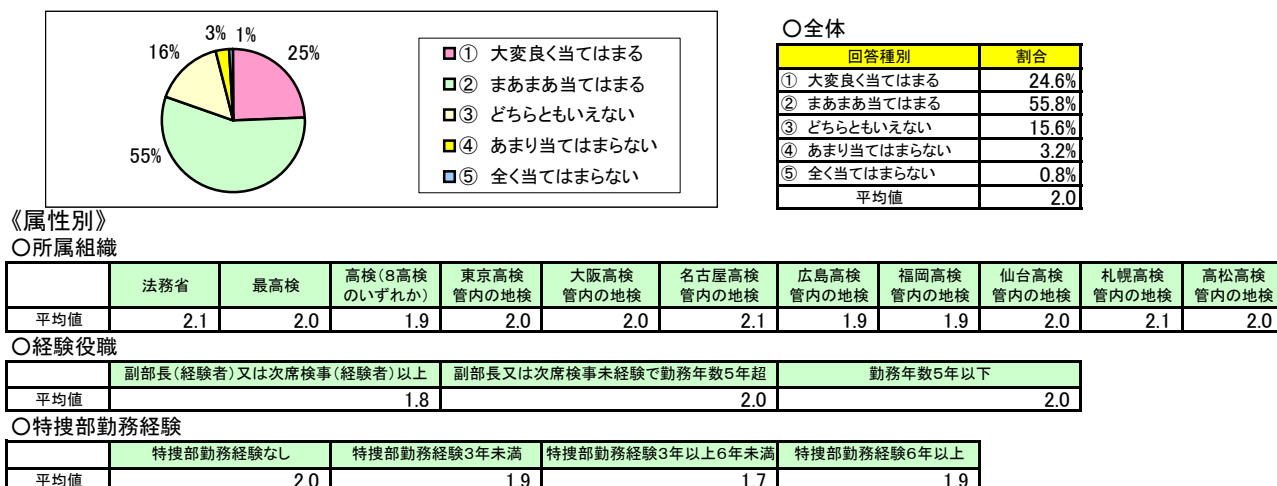
○特捜部勤務経験

	特捜部勤務経験なし	特捜部勤務経験3年未満	特捜部勤務経験3年以上6年未満	特捜部勤務経験6年以上
平均値	1.6	1.4	1.4	1.5

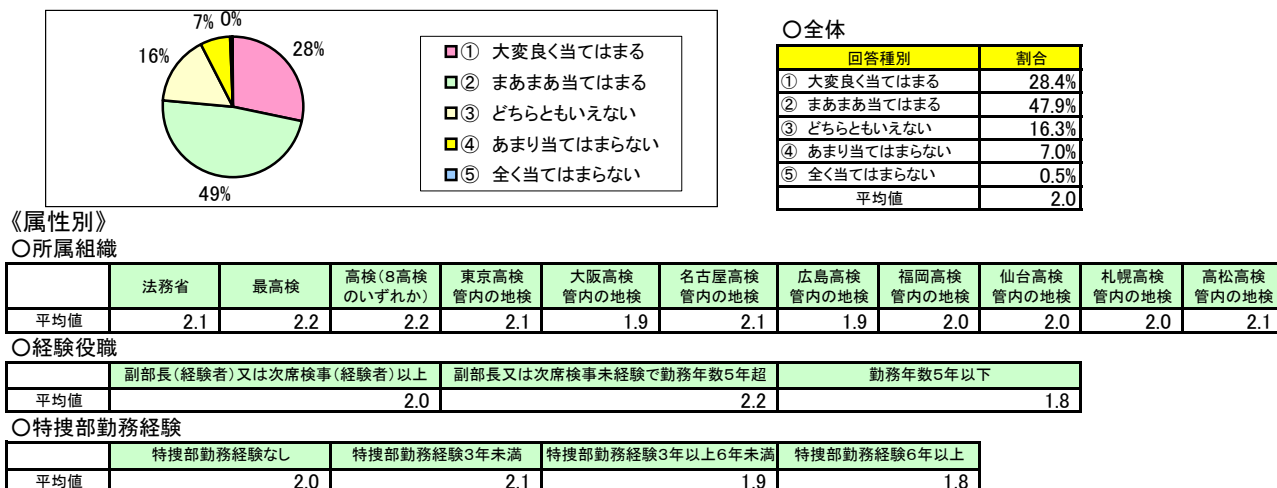
7. 日々の仕事において、自分は被害者の気持ちに応えることを強く意識して判断や行動をしている



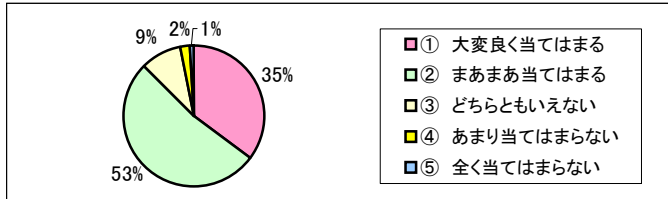
8. 検察官としての心構えについては、同じ考え方が組織の中で共有されている



9. 検察官としての心構えについて、職場であるいは上司から語られる機会が多い



10. 上司や幹部は、部下の報告や意見を真摯に受け止めてくれる



○全体

回答種別	割合
① 大変良く当てはまる	35.1%
② まあまあ当てはまる	52.2%
③ どちらともいえない	9.5%
④ あまり当てはまらない	2.3%
⑤ 全く当てはまらない	0.8%
平均値	1.8

《属性別》

○所属組織

	法務省	最高検	高検(8高検のいずれか)	東京高検管内の地検	大阪高検管内の地検	名古屋高検管内の地検	広島高検管内の地検	福岡高検管内の地検	仙台高検管内の地検	札幌高検管内の地検	高松高検管内の地検
平均値	1.8	1.7	1.8	1.9	1.7	2.0	1.7	1.7	1.8	1.7	1.6

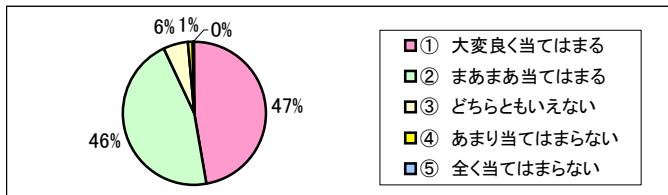
○経験役職

	副部長(経験者)又は次席検事(経験者)以上	副部長又は次席検事未経験で勤務年数5年超	勤務年数5年以下
平均値	1.7	1.9	1.8

○特捜部勤務経験

	特捜部勤務経験なし	特捜部勤務経験3年未満	特捜部勤務経験3年以上6年未満	特捜部勤務経験6年以上
平均値	1.9	1.7	1.6	1.7

11. 上司や幹部の意見や判断には、学びや気づきが多く含まれている



○全体

回答種別	割合
① 大変良く当てはまる	47.2%
② まあまあ当てはまる	45.9%
③ どちらともいえない	5.6%
④ あまり当てはまらない	1.2%
⑤ 全く当てはまらない	0.2%
平均値	1.6

《属性別》

○所属組織

	法務省	最高検	高検(8高検のいずれか)	東京高検管内の地検	大阪高検管内の地検	名古屋高検管内の地検	広島高検管内の地検	福岡高検管内の地検	仙台高検管内の地検	札幌高検管内の地検	高松高検管内の地検
平均値	1.6	1.7	1.7	1.6	1.5	1.8	1.5	1.5	1.6	1.5	1.7

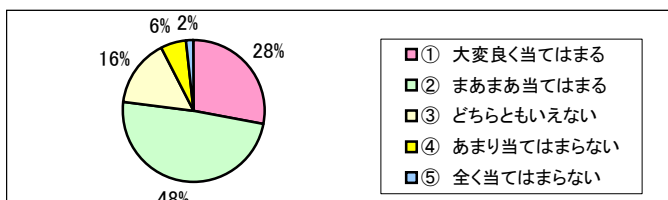
○経験役職

	副部長(経験者)又は次席検事(経験者)以上	副部長又は次席検事未経験で勤務年数5年超	勤務年数5年以下
平均値	1.6	1.7	1.4

○特捜部勤務経験

	特捜部勤務経験なし	特捜部勤務経験3年未満	特捜部勤務経験3年以上6年未満	特捜部勤務経験6年以上
平均値	1.6	1.7	1.6	1.7

12. 普段から立場の上下に関係なく異なる意見をぶつけあい、率直に議論している



○全体

回答種別	割合
① 大変良く当てはまる	27.9%
② まあまあ当てはまる	49.1%
③ どちらともいえない	15.5%
④ あまり当てはまらない	5.7%
⑤ 全く当てはまらない	1.7%
平均値	2.0

《属性別》

○所属組織

	法務省	最高検	高検(8高検のいずれか)	東京高検管内の地検	大阪高検管内の地検	名古屋高検管内の地検	広島高検管内の地検	福岡高検管内の地検	仙台高検管内の地検	札幌高検管内の地検	高松高検管内の地検
平均値	1.9	1.8	1.9	2.1	2.0	2.2	1.9	2.0	1.9	1.9	1.9

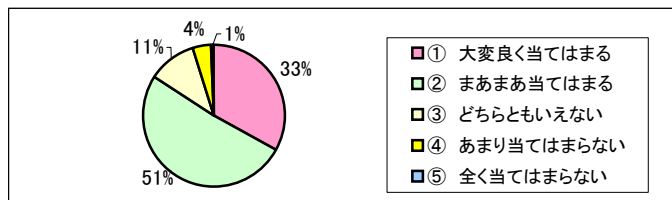
○経験役職

	副部長(経験者)又は次席検事(経験者)以上	副部長又は次席検事未経験で勤務年数5年超	勤務年数5年以下
平均値	1.8	2.1	2.2

○特捜部勤務経験

	特捜部勤務経験なし	特捜部勤務経験3年未満	特捜部勤務経験3年以上6年未満	特捜部勤務経験6年以上
平均値	2.1	1.8	1.6	1.6

13. 上司の方針や指示と異なる意見がある場合には、反対意見を述べている



○全体

回答種別	割合
① 大変良く当てはまる	33.2%
② まあまあ当てはまる	51.0%
③ どちらともいえない	11.0%
④ あまり当てはまらない	4.1%
⑤ 全く当てはまらない	0.7%
平均値	1.9

《属性別》

○所属組織

	法務省	最高検	高検(8高検のいずれか)	東京高検管内の地検	大阪高検管内の地検	名古屋高検管内の地検	広島高検管内の地検	福岡高検管内の地検	仙台高検管内の地検	札幌高検管内の地検	高松高検管内の地検
平均値	1.5	1.5	1.7	2.0	1.9	1.9	1.9	2.0	1.7	1.8	1.6

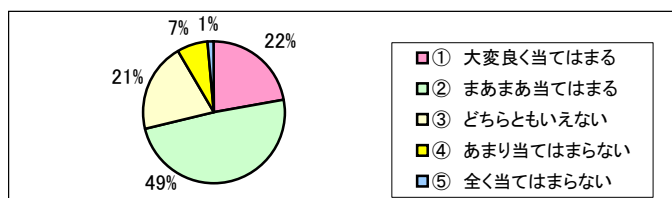
○経験役職

	副部長(経験者)又は次席検事(経験者)以上	副部長又は次席検事未経験で勤務年数5年超	勤務年数5年以下
平均値	1.6	1.9	2.2

○特捜部勤務経験

	特捜部勤務経験なし	特捜部勤務経験3年未満	特捜部勤務経験3年以上6年未満	特捜部勤務経験6年以上
平均値	2.0	1.6	1.4	1.5

14. 上司や幹部は、自らの判断に誤りがあると思えば、躊躇なく判断を変えている



○全体

回答種別	割合
① 大変良く当てはまる	22.1%
② まあまあ当てはまる	49.1%
③ どちらともいえない	20.5%
④ あまり当てはまらない	6.8%
⑤ 全く当てはまらない	1.5%
平均値	2.2

《属性別》

○所属組織

	法務省	最高検	高検(8高検のいずれか)	東京高検管内の地検	大阪高検管内の地検	名古屋高検管内の地検	広島高検管内の地検	福岡高検管内の地検	仙台高検管内の地検	札幌高検管内の地検	高松高検管内の地検
平均値	2.1	2.0	2.1	2.2	2.1	2.3	2.1	2.0	2.1	2.1	2.1

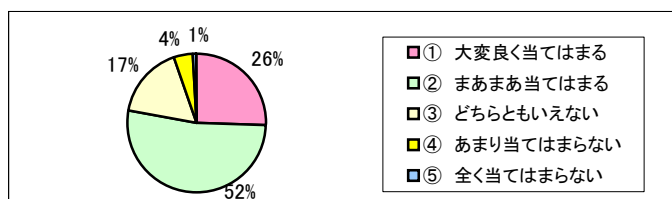
○経験役職

	副部長(経験者)又は次席検事(経験者)以上	副部長又は次席検事未経験で勤務年数5年超	勤務年数5年以下
平均値	2.0	2.2	2.2

○特捜部勤務経験

	特捜部勤務経験なし	特捜部勤務経験3年未満	特捜部勤務経験3年以上6年未満	特捜部勤務経験6年以上
平均値	2.2	2.0	1.9	1.9

15. 上司や幹部には、人間的な魅力を感じる人が多い



○全体

回答種別	割合
① 大変良く当てはまる	25.7%
② まあまあ当てはまる	52.1%
③ どちらともいえない	17.1%
④ あまり当てはまらない	4.4%
⑤ 全く当てはまらない	0.8%
平均値	2.0

《属性別》

○所属組織

	法務省	最高検	高検(8高検のいずれか)	東京高検管内の地検	大阪高検管内の地検	名古屋高検管内の地検	広島高検管内の地検	福岡高検管内の地検	仙台高検管内の地検	札幌高検管内の地検	高松高検管内の地検
平均値	1.9	2.0	2.3	2.1	1.9	2.3	1.9	1.9	2.0	1.9	2.1

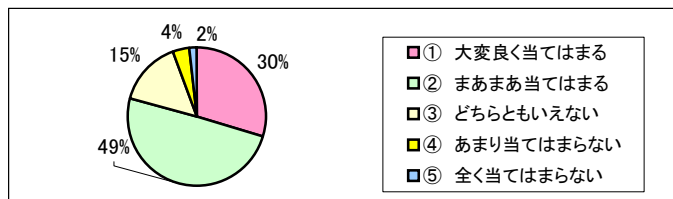
○経験役職

	副部長(経験者)又は次席検事(経験者)以上	副部長又は次席検事未経験で勤務年数5年超	勤務年数5年以下
平均値	2.0	2.1	1.9

○特捜部勤務経験

	特捜部勤務経験なし	特捜部勤務経験3年未満	特捜部勤務経験3年以上6年未満	特捜部勤務経験6年以上
平均値	2.0	2.0	1.8	1.9

16. 上司や幹部はチームワークを重視し、互いに助け合い協力して仕事を進めるよう努力している



○全体

回答種別	割合
① 大変良く当てはまる	29.8%
② まあまあ当てはまる	49.3%
③ どちらともいえない	15.2%
④ あまり当てはまらない	4.1%
⑤ 全く当てはまらない	1.5%
平均値	2.0

《属性別》

○所属組織

	法務省	最高検	高検(8高検のいずれか)	東京高検管内の地検	大阪高検管内の地検	名古屋高検管内の地検	広島高検管内の地検	福岡高検管内の地検	仙台高検管内の地検	札幌高検管内の地検	高松高検管内の地検
平均値	2.0	1.7	2.0	2.1	1.9	2.1	1.8	1.7	1.9	2.2	1.9

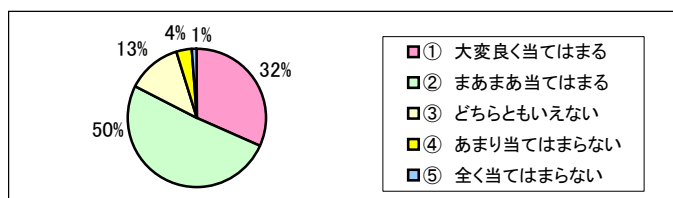
○経験役職

	副部長(経験者)又は次席検事(経験者)以上	副部長又は次席検事未経験で勤務年数5年超	勤務年数5年以下
平均値	1.8	2.1	2.0

○特捜部勤務経験

	特捜部勤務経験なし	特捜部勤務経験3年未満	特捜部勤務経験3年以上6年未満	特捜部勤務経験6年以上
平均値	2.0	1.9	1.6	1.8

17. 上司や幹部は日常的に、部下の成長のために支援してくれる



○全体

回答種別	割合
① 大変良く当てはまる	31.7%
② まあまあ当てはまる	50.8%
③ どちらともいえない	12.8%
④ あまり当てはまらない	3.7%
⑤ 全く当てはまらない	1.0%
平均値	1.9

《属性別》

○所属組織

	法務省	最高検	高検(8高検のいずれか)	東京高検管内の地検	大阪高検管内の地検	名古屋高検管内の地検	広島高検管内の地検	福岡高検管内の地検	仙台高検管内の地検	札幌高検管内の地検	高松高検管内の地検
平均値	2.0	1.8	2.1	2.0	1.8	2.1	1.7	1.8	1.8	1.9	1.8

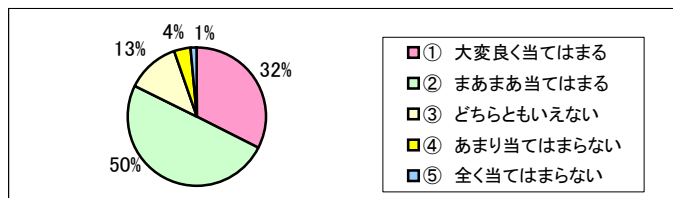
○経験役職

	副部長(経験者)又は次席検事(経験者)以上	副部長又は次席検事未経験で勤務年数5年超	勤務年数5年以下
平均値	1.8	2.1	1.7

○特捜部勤務経験

	特捜部勤務経験なし	特捜部勤務経験3年未満	特捜部勤務経験3年以上6年未満	特捜部勤務経験6年以上
平均値	1.9	1.9	1.7	1.7

18. 自分の上司は部下が苦境に陥った時、効果的に支援してくれる



○全体

回答種別	割合
① 大変良く当てはまる	32.4%
② まあまあ当てはまる	49.8%
③ どちらともいえない	12.6%
④ あまり当てはまらない	3.9%
⑤ 全く当てはまらない	1.4%
平均値	1.9

《属性別》

○所属組織

	法務省	最高検	高検(8高検のいずれか)	東京高検管内の地検	大阪高検管内の地検	名古屋高検管内の地検	広島高検管内の地検	福岡高検管内の地検	仙台高検管内の地検	札幌高検管内の地検	高松高検管内の地検
平均値	1.9	1.7	2.0	2.0	1.8	2.1	1.8	1.8	1.9	2.0	1.8

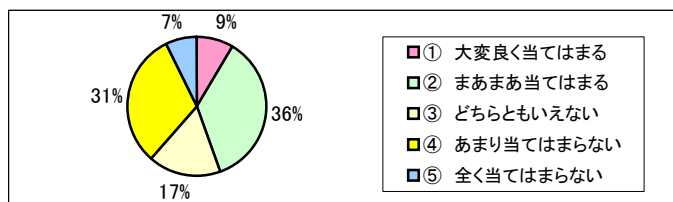
○経験役職

	副部長(経験者)又は次席検事(経験者)以上	副部長又は次席検事未経験で勤務年数5年超	勤務年数5年以下
平均値	1.8	2.0	1.8

○特捜部勤務経験

	特捜部勤務経験なし	特捜部勤務経験3年未満	特捜部勤務経験3年以上6年未満	特捜部勤務経験6年以上
平均値	1.9	1.9	1.7	1.7

19. 法と証拠に基づき立証可能かどうかの判断を、自分自身で的確にできているか、不安になることがある



○全体

回答種別	割合
① 大変良く当てはまる	8.6%
② まあまあ当てはまる	36.0%
③ どちらともいえない	16.9%
④ あまり当てはまらない	31.3%
⑤ 全く当てはまらない	7.2%
平均値	2.9

《属性別》

○所属組織

	法務省	最高検	高検(8高検のいずれか)	東京高検管内の地検	大阪高検管内の地検	名古屋高検管内の地検	広島高検管内の地検	福岡高検管内の地検	仙台高検管内の地検	札幌高検管内の地検	高松高検管内の地検
平均値	3.3	3.6	3.3	2.8	2.9	2.8	3.2	2.8	3.0	2.9	3.2

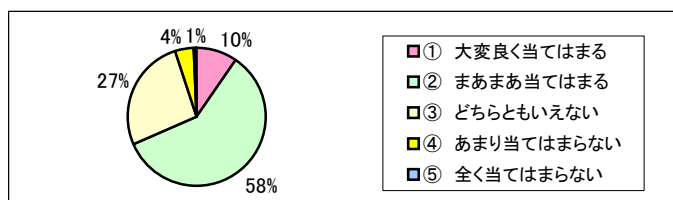
○経験役職

	副部長(経験者)又は次席検事(経験者)以上	副部長又は次席検事未経験で勤務年数5年超	勤務年数5年以下
平均値	3.5	3.0	2.3

○特捜部勤務経験

	特捜部勤務経験なし	特捜部勤務経験3年未満	特捜部勤務経験3年以上6年未満	特捜部勤務経験6年以上
平均値	2.8	3.3	3.7	4.2

20. 自分は取調べで、相手が真実を語っているのかどうかについて、的確な心証を得ることができている



○全体

回答種別	割合
① 大変良く当てはまる	9.7%
② まあまあ当てはまる	58.6%
③ どちらともいえない	26.7%
④ あまり当てはまらない	4.3%
⑤ 全く当てはまらない	0.7%
平均値	2.3

《属性別》

○所属組織

	法務省	最高検	高検(8高検のいずれか)	東京高検管内の地検	大阪高検管内の地検	名古屋高検管内の地検	広島高検管内の地検	福岡高検管内の地検	仙台高検管内の地検	札幌高検管内の地検	高松高検管内の地検
平均値	2.1	1.9	2.0	2.3	2.3	2.3	2.3	2.3	2.1	2.1	2.2

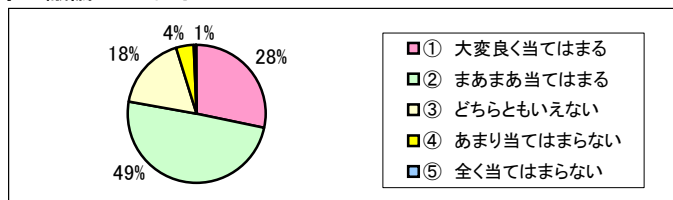
○経験役職

	副部長(経験者)又は次席検事(経験者)以上	副部長又は次席検事未経験で勤務年数5年超	勤務年数5年以下
平均値	2.0	2.2	2.6

○特捜部勤務経験

	特捜部勤務経験なし	特捜部勤務経験3年未満	特捜部勤務経験3年以上6年未満	特捜部勤務経験6年以上
平均値	2.4	2.1	1.9	1.9

21. 実際に自分で取調べをして得た心証が、それまでに想定されている事件の構図と違う場合、上司は自分の意見を尊重し真摯に議論してくれる



○全体

回答種別	割合
① 大変良く当てはまる	28.3%
② まあまあ当てはまる	49.4%
③ どちらともいえない	17.5%
④ あまり当てはまらない	4.1%
⑤ 全く当てはまらない	0.7%
平均値	2.0

《属性別》

○所属組織

	法務省	最高検	高検(8高検のいずれか)	東京高検管内の地検	大阪高検管内の地検	名古屋高検管内の地検	広島高検管内の地検	福岡高検管内の地検	仙台高検管内の地検	札幌高検管内の地検	高松高検管内の地検
平均値	1.8	1.9	1.8	2.1	1.9	2.1	1.8	1.9	2.0	1.9	1.9

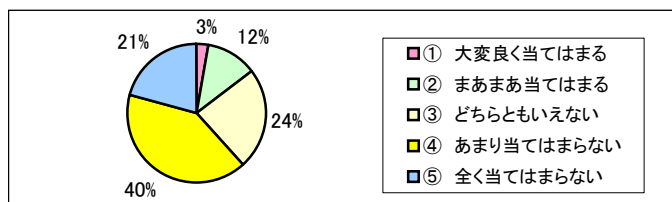
○経験役職

	副部長(経験者)又は次席検事(経験者)以上	副部長又は次席検事未経験で勤務年数5年超	勤務年数5年以下
平均値	1.8	2.0	2.1

○特捜部勤務経験

	特捜部勤務経験なし	特捜部勤務経験3年未満	特捜部勤務経験3年以上6年未満	特捜部勤務経験6年以上
平均値	2.0	1.9	1.8	1.5

22. 自分は取調べに苦手意識がある



○全体

回答種別	割合
① 大変良く当てはまる	2.9%
② まあまあ当てはまる	11.8%
③ どちらともいえない	23.7%
④ あまり当てはまらない	40.8%
⑤ 全く当てはまらない	20.8%
平均値	3.6

《属性別》

○所属組織

	法務省	最高検	高検(8高検のいずれか)	東京高検管内の地検	大阪高検管内の地検	名古屋高検管内の地検	広島高検管内の地検	福岡高検管内の地検	仙台高検管内の地検	札幌高検管内の地検	高松高検管内の地検
平均値	3.7	4.3	3.9	3.6	3.6	3.4	3.6	3.7	3.8	3.6	3.6

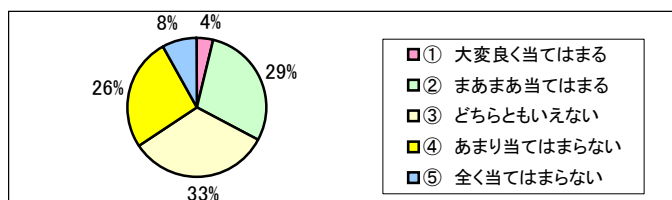
○経験役職

	副部長(経験者)又は次席検事(経験者)以上	副部長又は次席検事未経験で勤務年数5年超	勤務年数5年以下
平均値	4.0	3.6	3.4

○特捜部勤務経験

	特捜部勤務経験なし	特捜部勤務経験3年未満	特捜部勤務経験3年以上6年未満	特捜部勤務経験6年以上
平均値	3.5	4.0	4.1	4.5

23. 捜査に当たり、IT技術の進歩による情報処理の変化を十分考慮した対応が、組織として行われている



○全体

回答種別	割合
① 大変良く当てはまる	3.8%
② まあまあ当てはまる	28.9%
③ どちらともいえない	32.7%
④ あまり当てはまらない	26.4%
⑤ 全く当てはまらない	8.1%
平均値	3.1

《属性別》

○所属組織

	法務省	最高検	高検(8高検のいずれか)	東京高検管内の地検	大阪高検管内の地検	名古屋高検管内の地検	広島高検管内の地検	福岡高検管内の地検	仙台高検管内の地検	札幌高検管内の地検	高松高検管内の地検
平均値	3.5	3.0	2.9	3.1	3.0	3.1	2.9	2.9	2.7	2.8	2.9

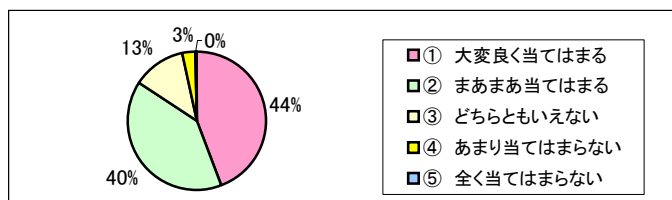
○経験役職

	副部長(経験者)又は次席検事(経験者)以上	副部長又は次席検事未経験で勤務年数5年超	勤務年数5年以下
平均値	2.9	3.2	2.9

○特捜部勤務経験

	特捜部勤務経験なし	特捜部勤務経験3年未満	特捜部勤務経験3年以上6年未満	特捜部勤務経験6年以上
平均値	3.0	3.1	3.1	2.9

24. 自然科学や心理学の知見を活用できるように、組織として、これらの知見を蓄積するなどの体制を整備すべきだと思う



○全体

回答種別	割合
① 大変良く当てはまる	44.2%
② まあまあ当てはまる	40.0%
③ どちらともいえない	12.6%
④ あまり当てはまらない	2.8%
⑤ 全く当てはまらない	0.4%
平均値	1.8

《属性別》

○所属組織

	法務省	最高検	高検(8高検のいずれか)	東京高検管内の地検	大阪高検管内の地検	名古屋高検管内の地検	広島高検管内の地検	福岡高検管内の地検	仙台高検管内の地検	札幌高検管内の地検	高松高検管内の地検
平均値	1.8	2.1	1.7	1.7	1.7	1.8	1.7	1.7	1.9	1.6	1.8

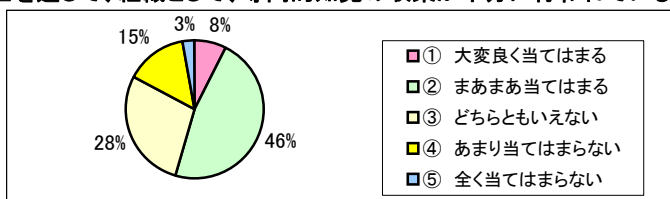
○経験役職

	副部長(経験者)又は次席検事(経験者)以上	副部長又は次席検事未経験で勤務年数5年超	勤務年数5年以下
平均値	1.7	1.8	1.8

○特捜部勤務経験

	特捜部勤務経験なし	特捜部勤務経験3年未満	特捜部勤務経験3年以上6年未満	特捜部勤務経験6年以上
平均値	1.8	1.7	1.9	1.6

25. 一般的な常識や過去の事案の経験だけでは判断が難しい事案に対応することができるように、日頃から、研修や勉強会などを通じて、組織として、専門的知見の収集が十分に行われている



○全体

回答種別	割合
① 大変良く当てはまる	7.6%
② まあまあ当てはまる	46.8%
③ どちらともいえない	28.4%
④ あまり当てはまらない	14.5%
⑤ 全く当てはまらない	2.7%
平均値	2.6

《属性別》

○所属組織

	法務省	最高検	高検(8高検のいずれか)	東京高検管内の地検	大阪高検管内の地検	名古屋高検管内の地検	広島高検管内の地検	福岡高検管内の地検	仙台高検管内の地検	札幌高検管内の地検	高松高検管内の地検
平均値	3.1	2.6	2.7	2.6	2.4	2.3	2.7	2.5	2.3	2.5	2.4

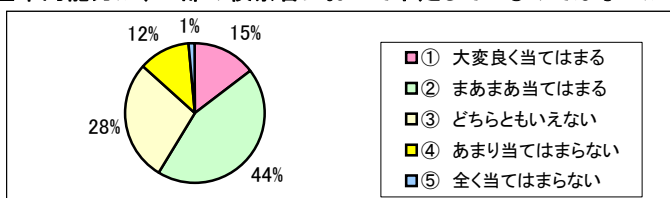
○経験役職

	副部長(経験者)又は次席検事(経験者)以上	副部長又は次席検事未経験で勤務年数5年超	勤務年数5年以下
平均値	2.6	2.7	2.3

○特捜部勤務経験

	特捜部勤務経験なし	特捜部勤務経験3年未満	特捜部勤務経験3年以上6年未満	特捜部勤務経験6年以上
平均値	2.6	2.6	2.7	2.5

26. 取調べ、証拠の分析、事実認定、立証可能性の吟味、証人尋問、起案、法律解釈・適用など、検察官に共通して求められる基本的能力が、一部の検察官において不足しているのではないかと不安になることがある



○全体

回答種別	割合
① 大変良く当てはまる	14.9%
② まあまあ当てはまる	43.8%
③ どちらともいえない	28.0%
④ あまり当てはまらない	11.9%
⑤ 全く当てはまらない	1.4%
平均値	2.4

《属性別》

○所属組織

	法務省	最高検	高検(8高検のいずれか)	東京高検管内の地検	大阪高検管内の地検	名古屋高検管内の地検	広島高検管内の地検	福岡高検管内の地検	仙台高検管内の地検	札幌高検管内の地検	高松高検管内の地検
平均値	2.5	1.9	2.2	2.5	2.3	2.3	2.5	2.4	2.8	2.4	2.4

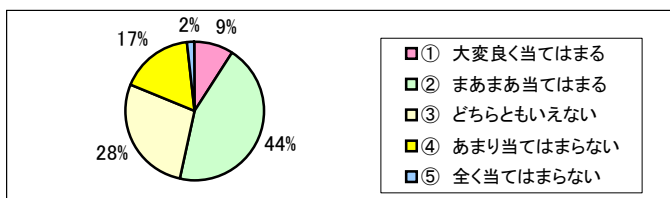
○経験役職

	副部長(経験者)又は次席検事(経験者)以上	副部長又は次席検事未経験で勤務年数5年超	勤務年数5年以下
平均値	2.2	2.4	2.7

○特捜部勤務経験

	特捜部勤務経験なし	特捜部勤務経験3年未満	特捜部勤務経験3年以上6年未満	特捜部勤務経験6年以上
平均値	2.5	2.3	2.3	2.1

27. そのような基本的能力を若手に伝承するための、職場での日常的な指導や学習の機会が十分ある



○全体

回答種別	割合
① 大変良く当てはまる	9.3%
② まあまあ当てはまる	44.2%
③ どちらともいえない	27.8%
④ あまり当てはまらない	17.1%
⑤ 全く当てはまらない	1.7%
平均値	2.6

《属性別》

○所属組織

	法務省	最高検	高検(8高検のいずれか)	東京高検管内の地検	大阪高検管内の地検	名古屋高検管内の地検	広島高検管内の地検	福岡高検管内の地検	仙台高検管内の地検	札幌高検管内の地検	高松高検管内の地検
平均値	2.7	2.6	2.6	2.6	2.4	2.6	2.6	2.4	2.4	2.7	2.5

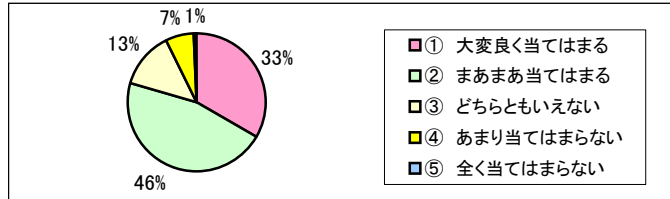
○経験役職

	副部長(経験者)又は次席検事(経験者)以上	副部長又は次席検事未経験で勤務年数5年超	勤務年数5年以下
平均値	2.5	2.7	2.4

○特捜部勤務経験

	特捜部勤務経験なし	特捜部勤務経験3年未満	特捜部勤務経験3年以上6年未満	特捜部勤務経験6年以上
平均値	2.6	2.6	2.6	2.3

28. 自分の周囲の同僚や先輩の仕事ぶりや意見を直接見聞きし、学ぶ機会が多い



○全体

回答種別	割合
① 大変良く当てはまる	33.2%
② まあまあ当てはまる	46.2%
③ どちらともいえない	13.2%
④ あまり当てはまらない	6.7%
⑤ 全く当てはまらない	0.6%
平均値	2.0

《属性別》

○所属組織

	法務省	最高検	高検(8高検のいずれか)	東京高検管内の地検	大阪高検管内の地検	名古屋高検管内の地検	広島高検管内の地検	福岡高検管内の地検	仙台高検管内の地検	札幌高検管内の地検	高松高検管内の地検
平均値	1.9	2.3	2.1	2.0	2.0	2.0	1.9	1.6	1.9	1.9	2.0

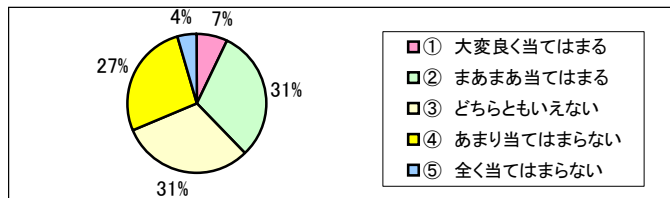
○経験役職

	副部長(経験者)又は次席検事(経験者)以上	副部長又は次席検事未経験で勤務年数5年超	勤務年数5年以下
平均値	2.0	2.0	1.7

○特捜部勤務経験

	特捜部勤務経験なし	特捜部勤務経験3年未満	特捜部勤務経験3年以上6年未満	特捜部勤務経験6年以上
平均値	2.0	2.0	1.8	1.9

29. 自分は検察官に共通して求められる基本的能力以外にも、特定分野についての検察官としての専門性の獲得に日頃から努めている



○全体

回答種別	割合
① 大変良く当てはまる	7.4%
② まあまあ当てはまる	30.6%
③ どちらともいえない	30.8%
④ あまり当てはまらない	27.0%
⑤ 全く当てはまらない	4.4%
平均値	2.9

《属性別》

○所属組織

	法務省	最高検	高検(8高検のいずれか)	東京高検管内の地検	大阪高検管内の地検	名古屋高検管内の地検	広島高検管内の地検	福岡高検管内の地検	仙台高検管内の地検	札幌高検管内の地検	高松高検管内の地検
平均値	2.7	2.7	2.8	2.9	2.9	2.9	3.2	3.1	2.9	2.8	3.2

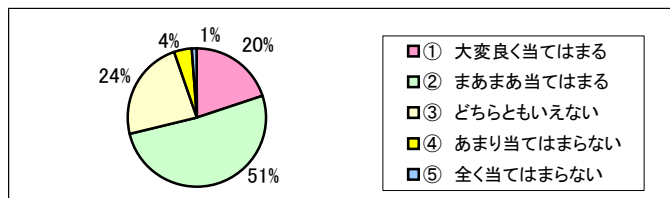
○経験役職

	副部長(経験者)又は次席検事(経験者)以上	副部長又は次席検事未経験で勤務年数5年超	勤務年数5年以下
平均値	2.8	2.9	3.1

○特捜部勤務経験

	特捜部勤務経験なし	特捜部勤務経験3年未満	特捜部勤務経験3年以上6年未満	特捜部勤務経験6年以上
平均値	3.0	2.6	2.5	2.3

30. 自分は一年前と比較し、仕事を通じて成長していると実感する



○全体

回答種別	割合
① 大変良く当てはまる	20.1%
② まあまあ当てはまる	50.9%
③ どちらともいえない	23.7%
④ あまり当てはまらない	4.1%
⑤ 全く当てはまらない	1.1%
平均値	2.2

《属性別》

○所属組織

	法務省	最高検	高検(8高検のいずれか)	東京高検管内の地検	大阪高検管内の地検	名古屋高検管内の地検	広島高検管内の地検	福岡高検管内の地検	仙台高検管内の地検	札幌高検管内の地検	高松高検管内の地検
平均値	2.0	2.1	2.3	2.2	2.1	2.3	2.0	1.9	2.1	2.0	2.2

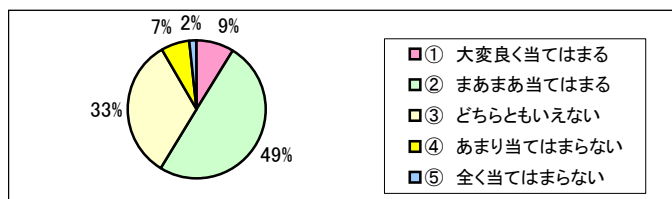
○経験役職

	副部長(経験者)又は次席検事(経験者)以上	副部長又は次席検事未経験で勤務年数5年超	勤務年数5年以下
平均値	2.2	2.2	2.0

○特捜部勤務経験

	特捜部勤務経験なし	特捜部勤務経験3年未満	特捜部勤務経験3年以上6年未満	特捜部勤務経験6年以上
平均値	2.2	2.1	2.1	2.1

31. 部長以上の幹部に登用される人は、それにふさわしい人たちである



○全体

回答種別	割合
① 大変良く当てはまる	8.8%
② まあまあ当てはまる	49.8%
③ どちらともいえない	32.9%
④ あまり当てはまらない	6.7%
⑤ 全く当てはまらない	1.8%
平均値	2.4

《属性別》

○所属組織

	法務省	最高検	高検(8高検のいずれか)	東京高検管内の地検	大阪高検管内の地検	名古屋高検管内の地検	広島高検管内の地検	福岡高検管内の地検	仙台高検管内の地検	札幌高検管内の地検	高松高検管内の地検
平均値	2.3	2.2	2.5	2.5	2.4	2.5	2.4	2.3	2.5	2.4	2.5

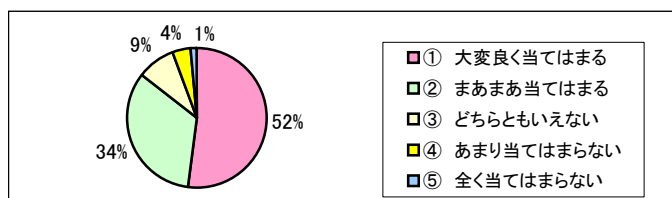
○経験役職

	副部長(経験者)又は次席検事(経験者)以上	副部長又は次席検事未経験で勤務年数5年超	勤務年数5年以下
平均値	2.3	2.5	2.4

○特捜部勤務経験

	特捜部勤務経験なし	特捜部勤務経験3年未満	特捜部勤務経験3年以上6年未満	特捜部勤務経験6年以上
平均値	2.5	2.4	2.2	2.3

32. 現在の直属上司かどうか別として、自分としてついでいきたいと思う幹部がいる



○全体

回答種別	割合
① 大変良く当てはまる	51.8%
② まあまあ当てはまる	33.7%
③ どちらともいえない	9.0%
④ あまり当てはまらない	4.1%
⑤ 全く当てはまらない	1.4%
平均値	1.7

《属性別》

○所属組織

	法務省	最高検	高検(8高検のいずれか)	東京高検管内の地検	大阪高検管内の地検	名古屋高検管内の地検	広島高検管内の地検	福岡高検管内の地検	仙台高検管内の地検	札幌高検管内の地検	高松高検管内の地検
平均値	1.5	1.7	2.1	1.7	1.6	1.7	1.5	1.6	1.6	1.6	1.8

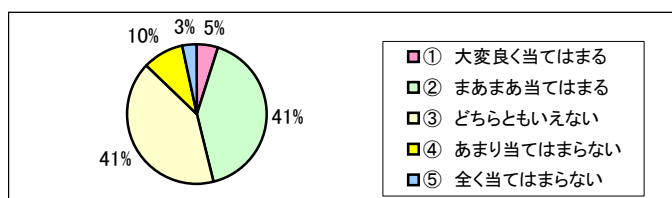
○経験役職

	副部長(経験者)又は次席検事(経験者)以上	副部長又は次席検事未経験で勤務年数5年超	勤務年数5年以下
平均値	1.7	1.7	1.6

○特捜部勤務経験

	特捜部勤務経験なし	特捜部勤務経験3年未満	特捜部勤務経験3年以上6年未満	特捜部勤務経験6年以上
平均値	1.7	1.6	1.4	1.6

33. 異動や転勤は、本人の適性や能力を十分考慮して行われている



○全体

回答種別	割合
① 大変良く当てはまる	5.1%
② まあまあ当てはまる	41.0%
③ どちらともいえない	41.0%
④ あまり当てはまらない	9.6%
⑤ 全く当てはまらない	3.2%
平均値	2.6

《属性別》

○所属組織

	法務省	最高検	高検(8高検のいずれか)	東京高検管内の地検	大阪高検管内の地検	名古屋高検管内の地検	広島高検管内の地検	福岡高検管内の地検	仙台高検管内の地検	札幌高検管内の地検	高松高検管内の地検
平均値	2.3	2.4	2.5	2.7	2.7	2.7	2.6	2.6	2.6	2.7	2.6

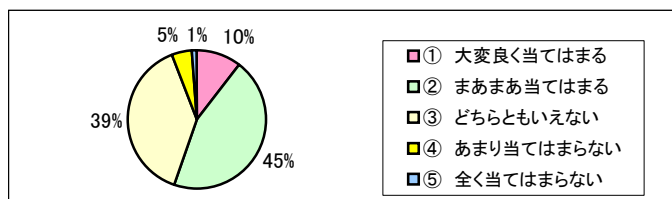
○経験役職

	副部長(経験者)又は次席検事(経験者)以上	副部長又は次席検事未経験で勤務年数5年超	勤務年数5年以下
平均値	2.4	2.7	2.8

○特捜部勤務経験

	特捜部勤務経験なし	特捜部勤務経験3年未満	特捜部勤務経験3年以上6年未満	特捜部勤務経験6年以上
平均値	2.7	2.5	2.3	2.4

34. 人事考課では自分の実績や仕事ぶりが適正に評価されている



○全体

回答種別	割合
① 大変良く当てはまる	10.5%
② まあまあ当てはまる	44.8%
③ どちらともいえない	39.0%
④ あまり当てはまらない	4.5%
⑤ 全く当てはまらない	1.2%
平均値	2.4

《属性別》

○所属組織

	法務省	最高検	高検(8高検のいずれか)	東京高検管内の地検	大阪高検管内の地検	名古屋高検管内の地検	広島高検管内の地検	福岡高検管内の地検	仙台高検管内の地検	札幌高検管内の地検	高松高検管内の地検
平均値	2.1	2.1	2.5	2.5	2.4	2.6	2.3	2.3	2.4	2.4	2.3

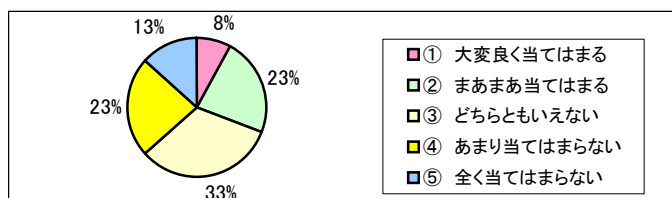
○経験役職

	副部長(経験者)又は次席検事(経験者)以上	副部長又は次席検事未経験で勤務年数5年超	勤務年数5年以下
平均値	2.2	2.4	2.6

○特捜部勤務経験

	特捜部勤務経験なし	特捜部勤務経験3年未満	特捜部勤務経験3年以上6年未満	特捜部勤務経験6年以上
平均値	2.5	2.3	1.8	1.8

35. 自分が起訴し又は公判を担当した事件が無罪になると、自分のキャリアにとってマイナスの影響があると感じる



○全体

回答種別	割合
① 大変良く当てはまる	8.0%
② まあまあ当てはまる	22.8%
③ どちらともいえない	32.6%
④ あまり当てはまらない	23.3%
⑤ 全く当てはまらない	13.3%
平均値	3.1

《属性別》

○所属組織

	法務省	最高検	高検(8高検のいずれか)	東京高検管内の地検	大阪高検管内の地検	名古屋高検管内の地検	広島高検管内の地検	福岡高検管内の地検	仙台高検管内の地検	札幌高検管内の地検	高松高検管内の地検
平均値	3.5	3.0	3.3	2.9	3.3	3.3	3.2	3.0	3.1	3.2	3.3

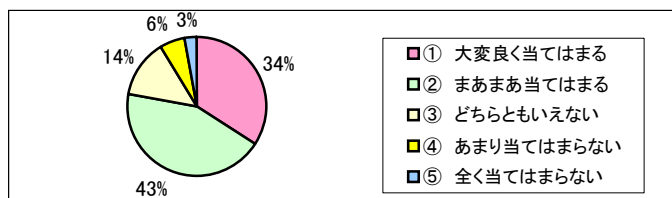
○経験役職

	副部長(経験者)又は次席検事(経験者)以上	副部長又は次席検事未経験で勤務年数5年超	勤務年数5年以下
平均値	3.4	3.2	2.8

○特捜部勤務経験

	特捜部勤務経験なし	特捜部勤務経験3年未満	特捜部勤務経験3年以上6年未満	特捜部勤務経験6年以上
平均値	3.0	3.3	3.6	3.3

36. 個人の事情がどうあれ、検察官という仕事に頻繁な異動や転勤が伴うことはやむを得ない



○全体

回答種別	割合
① 大変良く当てはまる	34.1%
② まあまあ当てはまる	43.7%
③ どちらともいえない	13.6%
④ あまり当てはまらない	6.0%
⑤ 全く当てはまらない	2.7%
平均値	2.0

《属性別》

○所属組織

	法務省	最高検	高検(8高検のいずれか)	東京高検管内の地検	大阪高検管内の地検	名古屋高検管内の地検	広島高検管内の地検	福岡高検管内の地検	仙台高検管内の地検	札幌高検管内の地検	高松高検管内の地検
平均値	1.8	1.6	1.9	2.1	2.2	2.1	1.9	1.7	2.0	1.8	1.8

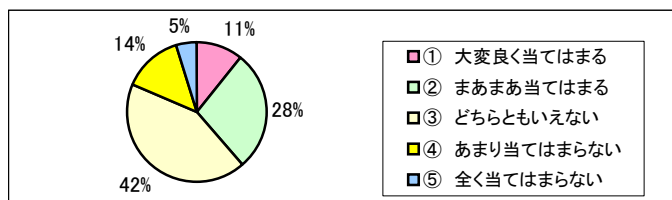
○経験役職

	副部長(経験者)又は次席検事(経験者)以上	副部長又は次席検事未経験で勤務年数5年超	勤務年数5年以下
平均値	1.7	2.1	2.1

○特捜部勤務経験

	特捜部勤務経験なし	特捜部勤務経験3年未満	特捜部勤務経験3年以上6年未満	特捜部勤務経験6年以上
平均値	2.0	1.9	1.8	1.5

37. 昇進や人事考課の判断は、上司との人間関係や上司の好き嫌いなど恣意的な要素による影響を受けていない



○全体

回答種別	割合
① 大変良く当てはまる	10.9%
② まあまあ当てはまる	27.6%
③ どちらともいえない	42.8%
④ あまり当てはまらない	14.0%
⑤ 全く当てはまらない	4.6%
平均値	2.7

《属性別》

○所属組織

	法務省	最高検	高検(8高検のいずれか)	東京高検管内の地検	大阪高検管内の地検	名古屋高検管内の地検	広島高検管内の地検	福岡高検管内の地検	仙台高検管内の地検	札幌高検管内の地検	高松高検管内の地検
平均値	2.5	2.7	2.9	2.8	2.8	2.9	2.7	2.7	2.6	2.6	2.7

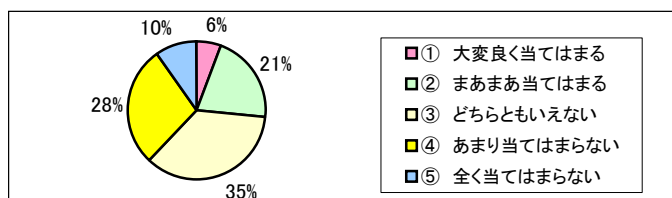
○経験役職

	副部長(経験者)又は次席検事(経験者)以上	副部長又は次席検事未経験で勤務年数5年超	勤務年数5年以下
平均値	2.6	2.8	2.7

○特捜部勤務経験

	特捜部勤務経験なし	特捜部勤務経験3年未満	特捜部勤務経験3年以上6年未満	特捜部勤務経験6年以上
平均値	2.8	2.6	2.3	2.3

38. 検察の組織では、女性検事が活躍するのに障害となる要素が多い



○全体

回答種別	割合
① 大変良く当てはまる	5.9%
② まあまあ当てはまる	20.9%
③ どちらともいえない	35.1%
④ あまり当てはまらない	28.4%
⑤ 全く当てはまらない	9.7%
平均値	3.2

《属性別》

○所属組織

	法務省	最高検	高検(8高検のいずれか)	東京高検管内の地検	大阪高検管内の地検	名古屋高検管内の地検	広島高検管内の地検	福岡高検管内の地検	仙台高検管内の地検	札幌高検管内の地検	高松高検管内の地検
平均値	3.3	3.3	3.3	3.0	3.2	3.3	3.5	3.0	3.3	3.2	3.2

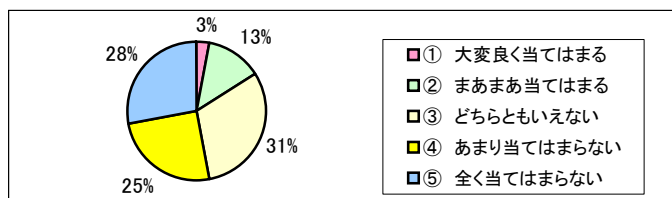
○経験役職

	副部長(経験者)又は次席検事(経験者)以上	副部長又は次席検事未経験で勤務年数5年超	勤務年数5年以下
平均値	3.3	3.1	3.0

○特捜部勤務経験

	特捜部勤務経験なし	特捜部勤務経験3年未満	特捜部勤務経験3年以上6年未満	特捜部勤務経験6年以上
平均値	3.1	3.2	3.5	3.5

39. 自分は将来検察庁の最高幹部になりたいと思う



○全体

回答種別	割合
① 大変良く当てはまる	3.0%
② まあまあ当てはまる	13.2%
③ どちらともいえない	30.6%
④ あまり当てはまらない	25.2%
⑤ 全く当てはまらない	27.9%
平均値	3.6

《属性別》

○所属組織

	法務省	最高検	高検(8高検のいずれか)	東京高検管内の地検	大阪高検管内の地検	名古屋高検管内の地検	広島高検管内の地検	福岡高検管内の地検	仙台高検管内の地検	札幌高検管内の地検	高松高検管内の地検
平均値	3.4	2.9	3.7	3.6	3.8	3.7	3.6	3.6	3.6	4.0	3.7

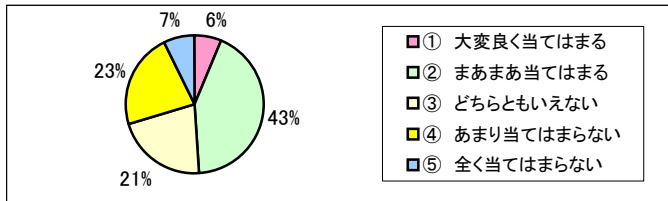
○経験役職

	副部長(経験者)又は次席検事(経験者)以上	副部長又は次席検事未経験で勤務年数5年超	勤務年数5年以下
平均値	3.4	3.7	3.7

○特捜部勤務経験

	特捜部勤務経験なし	特捜部勤務経験3年未満	特捜部勤務経験3年以上6年未満	特捜部勤務経験6年以上
平均値	3.7	3.4	3.4	3.4

40. 同期の検事の異動先や職務内容等が気になる



○全体

回答種別	割合
① 大変良く当てはまる	6.3%
② まあまあ当てはまる	42.6%
③ どちらともいえない	21.4%
④ あまり当てはまらない	22.6%
⑤ 全く当てはまらない	7.1%
平均値	2.8

《属性別》

○所属組織

	法務省	最高検	高検(8高検のいずれか)	東京高検管内の地検	大阪高検管内の地検	名古屋高検管内の地検	広島高検管内の地検	福岡高検管内の地検	仙台高検管内の地検	札幌高検管内の地検	高松高検管内の地検
平均値	3.0	2.8	3.0	2.8	2.8	2.8	2.8	2.5	2.7	3.0	3.0

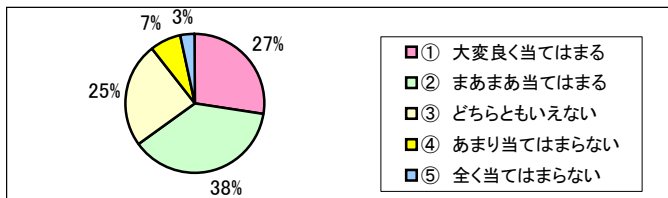
○経験役職

	副部長(経験者)又は次席検事(経験者)以上	副部長又は次席検事未経験で勤務年数5年超	勤務年数5年以下
平均値	2.9	2.8	2.7

○特捜部勤務経験

	特捜部勤務経験なし	特捜部勤務経験3年未満	特捜部勤務経験3年以上6年未満	特捜部勤務経験6年以上
平均値	2.8	2.9	3.0	3.3

41. 自分のキャリアは最後まで検察の分野で築いていきたいと思う



○全体

回答種別	割合
① 大変良く当てはまる	27.4%
② まあまあ当てはまる	37.6%
③ どちらともいえない	24.5%
④ あまり当てはまらない	7.3%
⑤ 全く当てはまらない	3.2%
平均値	2.2

《属性別》

○所属組織

	法務省	最高検	高検(8高検のいずれか)	東京高検管内の地検	大阪高検管内の地検	名古屋高検管内の地検	広島高検管内の地検	福岡高検管内の地検	仙台高検管内の地検	札幌高検管内の地検	高松高検管内の地検
平均値	2.2	1.7	2.1	2.3	2.3	2.2	1.8	2.2	1.9	2.4	2.2

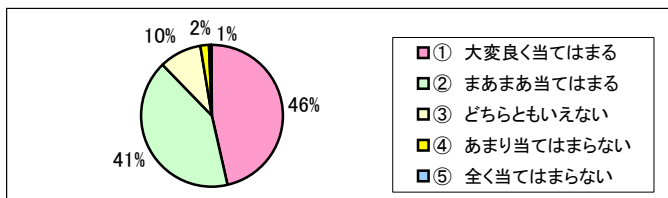
○経験役職

	副部長(経験者)又は次席検事(経験者)以上	副部長又は次席検事未経験で勤務年数5年超	勤務年数5年以下
平均値	1.9	2.3	2.4

○特捜部勤務経験

	特捜部勤務経験なし	特捜部勤務経験3年未満	特捜部勤務経験3年以上6年未満	特捜部勤務経験6年以上
平均値	2.3	2.1	1.8	1.6

42. 検察官以外の多様な経験を経験することは、検察官のキャリア形成に役立つと思う



○全体

回答種別	割合
① 大変良く当てはまる	46.4%
② まあまあ当てはまる	41.4%
③ どちらともいえない	9.7%
④ あまり当てはまらない	1.8%
⑤ 全く当てはまらない	0.6%
平均値	1.7

《属性別》

○所属組織

	法務省	最高検	高検(8高検のいずれか)	東京高検管内の地検	大阪高検管内の地検	名古屋高検管内の地検	広島高検管内の地検	福岡高検管内の地検	仙台高検管内の地検	札幌高検管内の地検	高松高検管内の地検
平均値	1.4	1.8	1.7	1.7	1.8	1.7	1.5	1.7	1.8	1.7	1.7

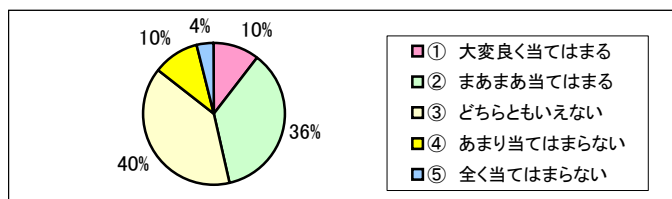
○経験役職

	副部長(経験者)又は次席検事(経験者)以上	副部長又は次席検事未経験で勤務年数5年超	勤務年数5年以下
平均値	1.8	1.7	1.6

○特捜部勤務経験

	特捜部勤務経験なし	特捜部勤務経験3年未満	特捜部勤務経験3年以上6年未満	特捜部勤務経験6年以上
平均値	1.7	1.7	1.7	1.9

43. 自分は独立して弁護士となっても、十分やっていけると思う



○全体

回答種別	割合
① 大変良く当てはまる	10.5%
② まあまあ当てはまる	35.9%
③ どちらともいえない	39.3%
④ あまり当てはまらない	10.4%
⑤ 全く当てはまらない	3.9%
平均値	2.6

《属性別》

○所属組織

	法務省	最高検	高検(8高検のいずれか)	東京高検管内の地検	大阪高検管内の地検	名古屋高検管内の地検	広島高検管内の地検	福岡高検管内の地検	仙台高検管内の地検	札幌高検管内の地検	高松高検管内の地検
平均値	2.3	2.5	2.6	2.7	2.7	2.7	2.5	2.6	2.6	2.3	2.6

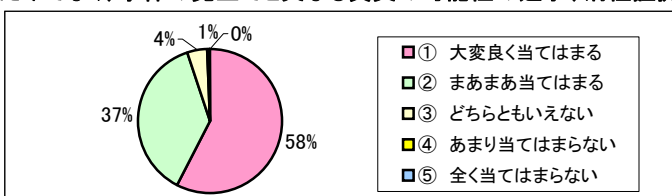
○経験役職

	副部長(経験者)又は次席検事(経験者)以上	副部長又は次席検事未経験で勤務年数5年超	勤務年数5年以下
平均値	2.5	2.6	2.8

○特捜部勤務経験

	特捜部勤務経験なし	特捜部勤務経験3年未満	特捜部勤務経験3年以上6年未満	特捜部勤務経験6年以上
平均値	2.7	2.4	2.3	2.1

44. 自分は、捜査過程のそれぞれの時点における事件の見立てに即した立証可能性の追求やその補強的な積極証拠の収集だけでなく、事件の見立てと異なる真実の可能性の追求、消極証拠の尊重も十分意識し、重視している



○全体

回答種別	割合
① 大変良く当てはまる	57.6%
② まあまあ当てはまる	37.4%
③ どちらともいえない	4.4%
④ あまり当てはまらない	0.6%
⑤ 全く当てはまらない	0.0%
平均値	1.5

《属性別》

○所属組織

	法務省	最高検	高検(8高検のいずれか)	東京高検管内の地検	大阪高検管内の地検	名古屋高検管内の地検	広島高検管内の地検	福岡高検管内の地検	仙台高検管内の地検	札幌高検管内の地検	高松高検管内の地検
平均値	1.4	1.3	1.2	1.6	1.5	1.5	1.4	1.5	1.5	1.3	1.4

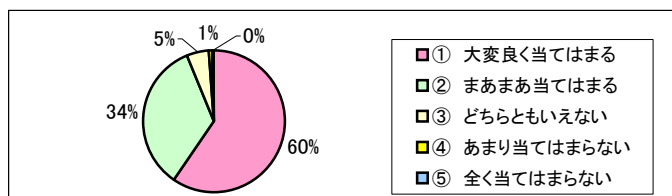
○経験役職

	副部長(経験者)又は次席検事(経験者)以上	副部長又は次席検事未経験で勤務年数5年超	勤務年数5年以下
平均値	1.3	1.4	1.8

○特捜部勤務経験

	特捜部勤務経験なし	特捜部勤務経験3年未満	特捜部勤務経験3年以上6年未満	特捜部勤務経験6年以上
平均値	1.5	1.3	1.2	1.3

45. 事件についての上司や幹部の見立てとは矛盾する供述や証拠についても、積極的に上司や幹部に報告している



○全体

回答種別	割合
① 大変良く当てはまる	59.6%
② まあまあ当てはまる	34.2%
③ どちらともいえない	5.1%
④ あまり当てはまらない	0.9%
⑤ 全く当てはまらない	0.2%
平均値	1.5

《属性別》

○所属組織

	法務省	最高検	高検(8高検のいずれか)	東京高検管内の地検	大阪高検管内の地検	名古屋高検管内の地検	広島高検管内の地検	福岡高検管内の地検	仙台高検管内の地検	札幌高検管内の地検	高松高検管内の地検
平均値	1.3	1.2	1.3	1.6	1.5	1.5	1.5	1.5	1.4	1.3	1.3

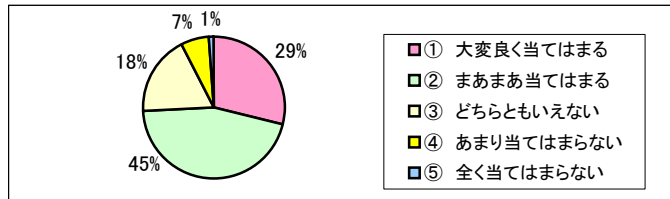
○経験役職

	副部長(経験者)又は次席検事(経験者)以上	副部長又は次席検事未経験で勤務年数5年超	勤務年数5年以下
平均値	1.3	1.5	1.7

○特捜部勤務経験

	特捜部勤務経験なし	特捜部勤務経験3年未満	特捜部勤務経験3年以上6年未満	特捜部勤務経験6年以上
平均値	1.5	1.3	1.2	1.3

46. 上司や幹部の判断に納得できないときは、粘り強く意見具申している



○全体

回答種別	割合
① 大変良く当てはまる	28.8%
② まあまあ当てはまる	45.3%
③ どちらともいえない	18.5%
④ あまり当てはまらない	6.5%
⑤ 全く当てはまらない	1.0%
平均値	2.1

《属性別》

○所属組織

	法務省	最高検	高検(8高検のいずれか)	東京高検管内の地検	大阪高検管内の地検	名古屋高検管内の地検	広島高検管内の地検	福岡高検管内の地検	仙台高検管内の地検	札幌高検管内の地検	高松高検管内の地検
平均値	1.7	1.6	1.8	2.2	2.1	2.2	2.0	2.2	2.1	1.8	1.9

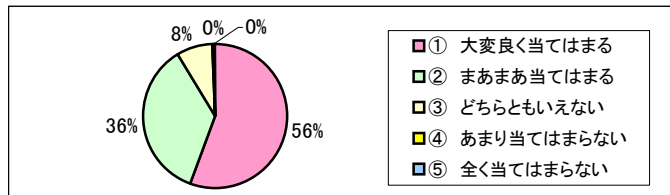
○経験役職

	副部長(経験者)又は次席検事(経験者)以上	副部長又は次席検事未経験で勤務年数5年超	勤務年数5年以下
平均値	1.7	2.1	2.4

○特捜部勤務経験

	特捜部勤務経験なし	特捜部勤務経験3年未満	特捜部勤務経験3年以上6年未満	特捜部勤務経験6年以上
平均値	2.2	1.8	1.5	1.6

47. 上司や幹部は、決裁などの場面で、供述ばかりでなく物的証拠による裏付けを強く求める



○全体

回答種別	割合
① 大変良く当てはまる	55.7%
② まあまあ当てはまる	35.8%
③ どちらともいえない	7.9%
④ あまり当てはまらない	0.5%
⑤ 全く当てはまらない	0.2%
平均値	1.5

《属性別》

○所属組織

	法務省	最高検	高検(8高検のいずれか)	東京高検管内の地検	大阪高検管内の地検	名古屋高検管内の地検	広島高検管内の地検	福岡高検管内の地検	仙台高検管内の地検	札幌高検管内の地検	高松高検管内の地検
平均値	1.6	1.6	1.8	1.6	1.4	1.6	1.4	1.4	1.5	1.3	1.5

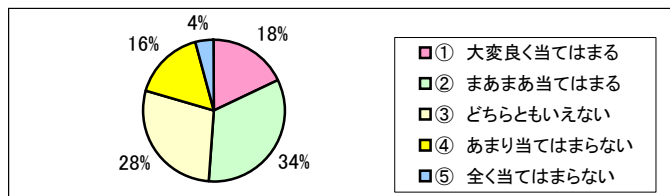
○経験役職

	副部長(経験者)又は次席検事(経験者)以上	副部長又は次席検事未経験で勤務年数5年超	勤務年数5年以下
平均値	1.5	1.6	1.5

○特捜部勤務経験

	特捜部勤務経験なし	特捜部勤務経験3年未満	特捜部勤務経験3年以上6年未満	特捜部勤務経験6年以上
平均値	1.6	1.5	1.4	1.6

48. 適正な業務を遂行するためには、自分の担当業務量が多すぎると感じることもある



○全体

回答種別	割合
① 大変良く当てはまる	18.1%
② まあまあ当てはまる	33.1%
③ どちらともいえない	28.3%
④ あまり当てはまらない	16.2%
⑤ 全く当てはまらない	4.2%
平均値	2.6

《属性別》

○所属組織

	法務省	最高検	高検(8高検のいずれか)	東京高検管内の地検	大阪高検管内の地検	名古屋高検管内の地検	広島高検管内の地検	福岡高検管内の地検	仙台高検管内の地検	札幌高検管内の地検	高松高検管内の地検
平均値	2.5	3.1	3.0	2.5	2.3	2.5	2.8	2.5	2.8	2.4	2.9

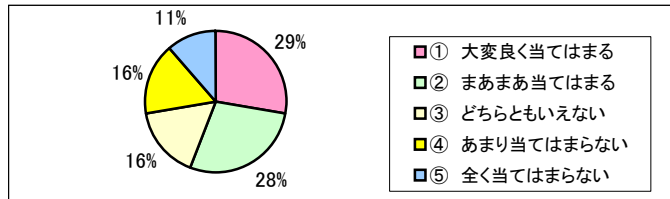
○経験役職

	副部長(経験者)又は次席検事(経験者)以上	副部長又は次席検事未経験で勤務年数5年超	勤務年数5年以下
平均値	3.0	2.3	2.6

○特捜部勤務経験

	特捜部勤務経験なし	特捜部勤務経験3年未満	特捜部勤務経験3年以上6年未満	特捜部勤務経験6年以上
平均値	2.5	2.7	2.8	3.5

49. 土日に休みが取れないことが日常的にある



○全体

回答種別	割合
① 大変良く当てはまる	27.6%
② まあまあ当てはまる	28.2%
③ どちらともいえない	16.4%
④ あまり当てはまらない	16.5%
⑤ 全く当てはまらない	11.3%
平均値	2.6

《属性別》

○所属組織

	法務省	最高検	高検(8高検のいずれか)	東京高検管内の地検	大阪高検管内の地検	名古屋高検管内の地検	広島高検管内の地検	福岡高検管内の地検	仙台高検管内の地検	札幌高検管内の地検	高松高検管内の地検
平均値	2.1	3.2	3.5	2.6	2.3	2.6	2.9	2.2	2.5	2.3	3.1

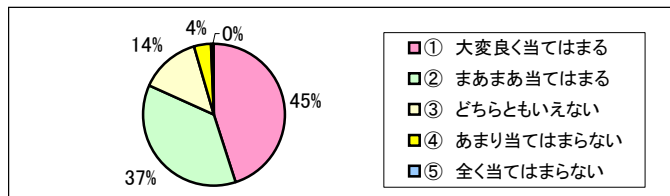
○経験役職

	副部長(経験者)又は次席検事(経験者)以上	副部長又は次席検事未経験で勤務年数5年超	勤務年数5年以下
平均値	3.5	2.3	2.2

○特捜部勤務経験

	特捜部勤務経験なし	特捜部勤務経験3年未満	特捜部勤務経験3年以上6年未満	特捜部勤務経験6年以上
平均値	2.5	2.8	2.9	3.3

50. 適正な業務を遂行するためには、現在の検察組織全般において、人員が不足していると感じることがある



○全体

回答種別	割合
① 大変良く当てはまる	44.9%
② まあまあ当てはまる	36.6%
③ どちらともいえない	14.0%
④ あまり当てはまらない	4.0%
⑤ 全く当てはまらない	0.5%
平均値	1.8

《属性別》

○所属組織

	法務省	最高検	高検(8高検のいずれか)	東京高検管内の地検	大阪高検管内の地検	名古屋高検管内の地検	広島高検管内の地検	福岡高検管内の地検	仙台高検管内の地検	札幌高検管内の地検	高松高検管内の地検
平均値	2.0	2.2	2.1	1.9	1.4	1.8	1.8	1.6	1.9	1.5	1.9

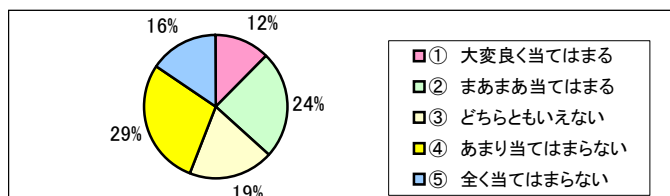
○経験役職

	副部長(経験者)又は次席検事(経験者)以上	副部長又は次席検事未経験で勤務年数5年超	勤務年数5年以下
平均値	1.9	1.7	1.8

○特捜部勤務経験

	特捜部勤務経験なし	特捜部勤務経験3年未満	特捜部勤務経験3年以上6年未満	特捜部勤務経験6年以上
平均値	1.8	1.9	1.8	2.0

51. メンタルヘルスの問題や心の疲弊は他人事ではなく、自分も同じような危機を感じている



○全体

回答種別	割合
① 大変良く当てはまる	12.4%
② まあまあ当てはまる	24.3%
③ どちらともいえない	19.1%
④ あまり当てはまらない	28.6%
⑤ 全く当てはまらない	15.5%
平均値	3.1

《属性別》

○所属組織

	法務省	最高検	高検(8高検のいずれか)	東京高検管内の地検	大阪高検管内の地検	名古屋高検管内の地検	広島高検管内の地検	福岡高検管内の地検	仙台高検管内の地検	札幌高検管内の地検	高松高検管内の地検
平均値	3.3	3.8	3.4	3.1	2.9	3.0	3.1	3.0	3.0	3.1	3.6

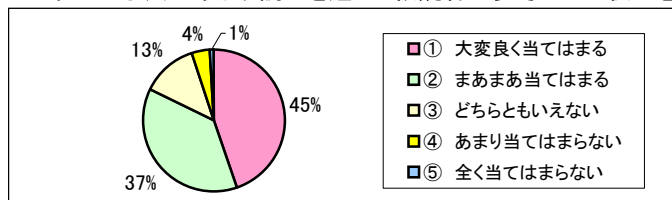
○経験役職

	副部長(経験者)又は次席検事(経験者)以上	副部長又は次席検事未経験で勤務年数5年超	勤務年数5年以下
平均値	3.6	3.0	2.9

○特捜部勤務経験

	特捜部勤務経験なし	特捜部勤務経験3年未満	特捜部勤務経験3年以上6年未満	特捜部勤務経験6年以上
平均値	3.0	3.4	3.7	3.9

52. 実体的真実の究明が検察官の使命の一つであると考えているが、近年の捜査・刑事司法を取り巻く環境の変化により、捜査の中心的手法である取調べを通じて被疑者や参考人から供述を得ることが困難になってきていると感じる



○全体

回答種別	割合
① 大変良く当てはまる	44.8%
② まあまあ当てはまる	37.4%
③ どちらともいえない	12.6%
④ あまり当てはまらない	4.3%
⑤ 全く当てはまらない	0.8%
平均値	1.8

《属性別》

○所属組織

	法務省	最高検	高検(8高検のいずれか)	東京高検管内の地検	大阪高検管内の地検	名古屋高検管内の地検	広島高検管内の地検	福岡高検管内の地検	仙台高検管内の地検	札幌高検管内の地検	高松高検管内の地検
平均値	1.6	1.4	1.7	1.9	1.7	1.8	2.0	1.8	2.0	1.6	1.8

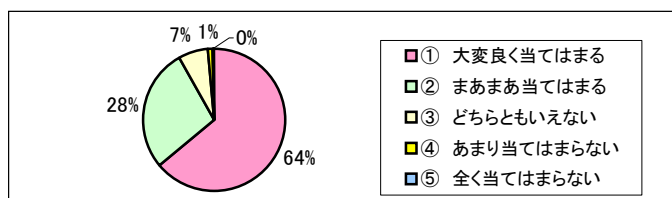
○経験役職

	副部長(経験者)又は次席検事(経験者)以上	副部長又は次席検事未経験で勤務年数5年超	勤務年数5年以下
平均値	1.5	1.7	2.2

○特捜部勤務経験

	特捜部勤務経験なし	特捜部勤務経験3年未満	特捜部勤務経験3年以上6年未満	特捜部勤務経験6年以上
平均値	1.9	1.6	1.4	1.5

53. 実体的真実の究明のため、今後、取調べ以外の捜査手法を充実させる必要があると思う



○全体

回答種別	割合
① 大変良く当てはまる	64.0%
② まあまあ当てはまる	27.9%
③ どちらともいえない	6.6%
④ あまり当てはまらない	1.1%
⑤ 全く当てはまらない	0.3%
平均値	1.5

《属性別》

○所属組織

	法務省	最高検	高検(8高検のいずれか)	東京高検管内の地検	大阪高検管内の地検	名古屋高検管内の地検	広島高検管内の地検	福岡高検管内の地検	仙台高検管内の地検	札幌高検管内の地検	高松高検管内の地検
平均値	1.2	1.5	1.4	1.5	1.5	1.5	1.5	1.5	1.5	1.3	1.4

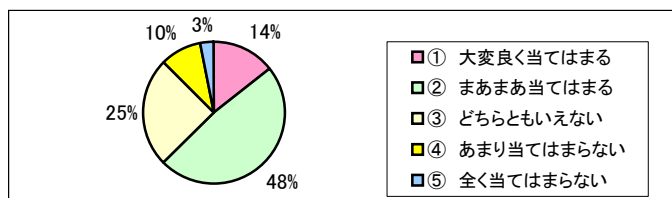
○経験役職

	副部長(経験者)又は次席検事(経験者)以上	副部長又は次席検事未経験で勤務年数5年超	勤務年数5年以下
平均値	1.4	1.4	1.7

○特捜部勤務経験

	特捜部勤務経験なし	特捜部勤務経験3年未満	特捜部勤務経験3年以上6年未満	特捜部勤務経験6年以上
平均値	1.5	1.4	1.3	1.3

54. 検察官が独任制官庁であることと検察官同一体の原則が、現在の検察組織において、うまく両立されている



○全体

回答種別	割合
① 大変良く当てはまる	14.4%
② まあまあ当てはまる	48.2%
③ どちらともいえない	24.8%
④ あまり当てはまらない	9.6%
⑤ 全く当てはまらない	3.0%
平均値	2.4

《属性別》

○所属組織

	法務省	最高検	高検(8高検のいずれか)	東京高検管内の地検	大阪高検管内の地検	名古屋高検管内の地検	広島高検管内の地検	福岡高検管内の地検	仙台高検管内の地検	札幌高検管内の地検	高松高検管内の地検
平均値	2.2	2.3	2.3	2.4	2.4	2.6	2.3	2.4	2.5	2.4	2.4

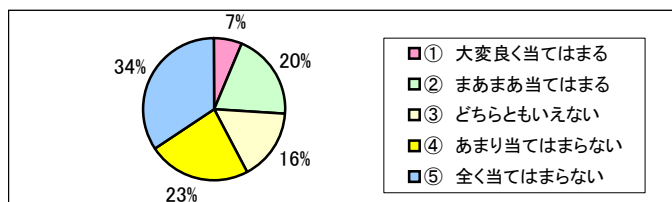
○経験役職

	副部長(経験者)又は次席検事(経験者)以上	副部長又は次席検事未経験で勤務年数5年超	勤務年数5年以下
平均値	2.1	2.5	2.5

○特捜部勤務経験

	特捜部勤務経験なし	特捜部勤務経験3年未満	特捜部勤務経験3年以上6年未満	特捜部勤務経験6年以上
平均値	2.5	2.2	2.1	2.1

55. 取調べについて、供述人の実際の供述とは異なる特定の方向での供述調書の作成を指示されたことがある



○全体

回答種別	割合
① 大変良く当てはまる	6.5%
② まあまあ当てはまる	19.6%
③ どちらともいえない	16.1%
④ あまり当てはまらない	23.4%
⑤ 全く当てはまらない	34.4%
平均値	3.6

《属性別》

○所属組織

	法務省	最高検	高検(8高検のいずれか)	東京高検管内の地検	大阪高検管内の地検	名古屋高検管内の地検	広島高検管内の地検	福岡高検管内の地検	仙台高検管内の地検	札幌高検管内の地検	高松高検管内の地検
平均値	3.8	3.8	4.0	3.6	3.7	3.1	3.7	3.6	3.4	3.5	3.7

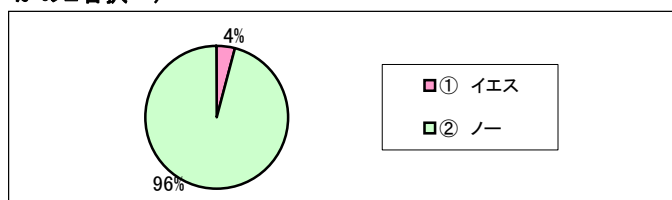
○経験役職

	副部長(経験者)又は次席検事(経験者)以上	副部長又は次席検事未経験で勤務年数5年超	勤務年数5年以下
平均値	3.9	3.4	3.8

○特捜部勤務経験

	特捜部勤務経験なし	特捜部勤務経験3年未満	特捜部勤務経験3年以上6年未満	特捜部勤務経験6年以上
平均値	3.6	3.6	3.8	3.8

56. 今まで自分が作成した供述調書が、公判でその任意性、特信性を否定され、証拠採用されなかったことがある(イエスかノーかの2者択一)



○全体

回答種別	割合
① イエス	4.1%
② ノー	95.9%
平均値	2.0

《属性別》

○所属組織

	法務省	最高検	高検(8高検のいずれか)	東京高検管内の地検	大阪高検管内の地検	名古屋高検管内の地検	広島高検管内の地検	福岡高検管内の地検	仙台高検管内の地検	札幌高検管内の地検	高松高検管内の地検
平均値	2.0	1.9	1.9	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	1.9

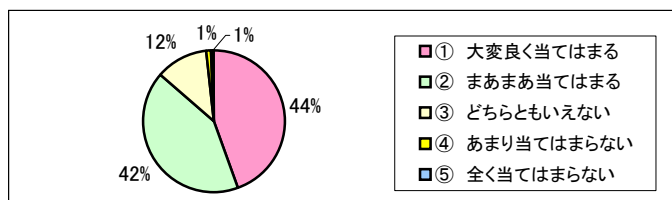
○経験役職

	副部長(経験者)又は次席検事(経験者)以上	副部長又は次席検事未経験で勤務年数5年超	勤務年数5年以下
平均値	1.9	2.0	2.0

○特捜部勤務経験

	特捜部勤務経験なし	特捜部勤務経験3年未満	特捜部勤務経験3年以上6年未満	特捜部勤務経験6年以上
平均値	2.0	1.9	1.9	1.8

57. 共同捜査においては、他の関係者の供述内容や供述調書について、上司から教えられたり同僚と共有したりしている



○全体

回答種別	割合
① 大変良く当てはまる	44.3%
② まあまあ当てはまる	42.1%
③ どちらともいえない	11.9%
④ あまり当てはまらない	1.1%
⑤ 全く当てはまらない	0.5%
平均値	1.7

《属性別》

○所属組織

	法務省	最高検	高検(8高検のいずれか)	東京高検管内の地検	大阪高検管内の地検	名古屋高検管内の地検	広島高検管内の地検	福岡高検管内の地検	仙台高検管内の地検	札幌高検管内の地検	高松高検管内の地検
平均値	1.8	1.9	1.7	1.8	1.7	1.5	1.6	1.4	1.6	1.6	1.5

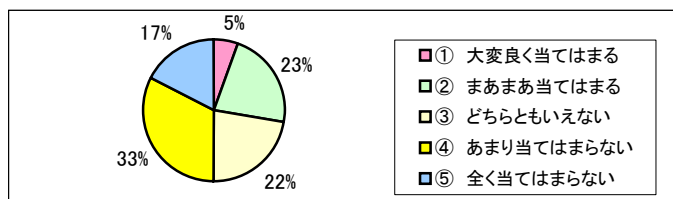
○経験役職

	副部長(経験者)又は次席検事(経験者)以上	副部長又は次席検事未経験で勤務年数5年超	勤務年数5年以下
平均値	1.8	1.6	1.9

○特捜部勤務経験

	特捜部勤務経験なし	特捜部勤務経験3年未満	特捜部勤務経験3年以上6年未満	特捜部勤務経験6年以上
平均値	1.7	1.8	1.8	1.9

58. 任意性、特信性に問題が生じかねない取調べであると感じる事例を周囲で見かけたり、聞いたりすることがある



○全体

回答種別	割合
① 大変良く当てはまる	5.4%
② まあまあ当てはまる	22.3%
③ どちらともいえない	22.4%
④ あまり当てはまらない	32.5%
⑤ 全く当てはまらない	17.5%
平均値	3.3

《属性別》

○所属組織

	法務省	最高検	高検(8高検のいずれか)	東京高検管内の地検	大阪高検管内の地検	名古屋高検管内の地検	広島高検管内の地検	福岡高検管内の地検	仙台高検管内の地検	札幌高検管内の地検	高松高検管内の地検
平均値	3.3	3.1	3.5	3.3	3.4	3.1	3.6	3.4	3.5	3.5	3.5

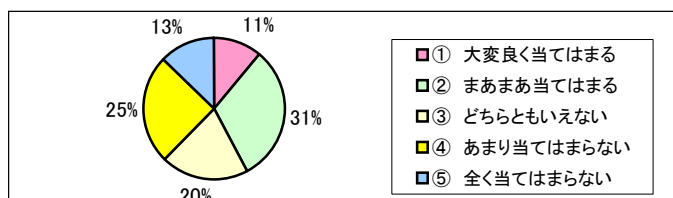
○経験役職

	副部長(経験者)又は次席検事(経験者)以上	副部長又は次席検事未経験で勤務年数5年超	勤務年数5年以下
平均値	3.4	3.2	3.5

○特捜部勤務経験

	特捜部勤務経験なし	特捜部勤務経験3年未満	特捜部勤務経験3年以上6年未満	特捜部勤務経験6年以上
平均値	3.3	3.4	3.5	3.3

59. 公益通報者保護法に基づく内部通報制度がどのような制度か良く知っている



○全体

回答種別	割合
① 大変良く当てはまる	11.0%
② まあまあ当てはまる	31.3%
③ どちらともいえない	20.0%
④ あまり当てはまらない	25.0%
⑤ 全く当てはまらない	12.7%
平均値	3.0

《属性別》

○所属組織

	法務省	最高検	高検(8高検のいずれか)	東京高検管内の地検	大阪高検管内の地検	名古屋高検管内の地検	広島高検管内の地検	福岡高検管内の地検	仙台高検管内の地検	札幌高検管内の地検	高松高検管内の地検
平均値	2.1	2.2	2.5	3.2	2.8	3.4	3.1	3.0	3.1	3.0	2.9

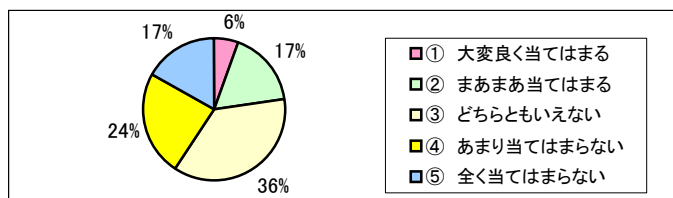
○経験役職

	副部長(経験者)又は次席検事(経験者)以上	副部長又は次席検事未経験で勤務年数5年超	勤務年数5年以下
平均値	2.3	3.1	3.4

○特捜部勤務経験

	特捜部勤務経験なし	特捜部勤務経験3年未満	特捜部勤務経験3年以上6年未満	特捜部勤務経験6年以上
平均値	3.1	2.6	2.2	1.9

60. 不正行為を内部通報したり幹部に直訴した人は、人事上の不利益を被る可能性があると感じる



○全体

回答種別	割合
① 大変良く当てはまる	5.7%
② まあまあ当てはまる	17.1%
③ どちらともいえない	36.3%
④ あまり当てはまらない	24.1%
⑤ 全く当てはまらない	16.8%
平均値	3.3

《属性別》

○所属組織

	法務省	最高検	高検(8高検のいずれか)	東京高検管内の地検	大阪高検管内の地検	名古屋高検管内の地検	広島高検管内の地検	福岡高検管内の地検	仙台高検管内の地検	札幌高検管内の地検	高松高検管内の地検
平均値	3.8	4.1	3.5	3.1	3.3	3.1	3.4	3.4	3.2	3.3	3.5

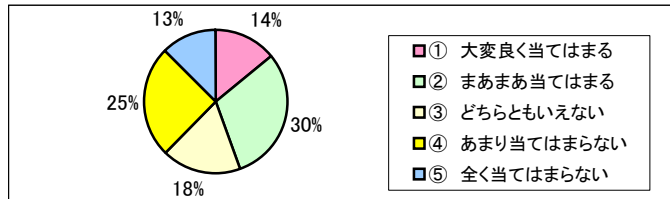
○経験役職

	副部長(経験者)又は次席検事(経験者)以上	副部長又は次席検事未経験で勤務年数5年超	勤務年数5年以下
平均値	3.7	3.2	3.0

○特捜部勤務経験

	特捜部勤務経験なし	特捜部勤務経験3年未満	特捜部勤務経験3年以上6年未満	特捜部勤務経験6年以上
平均値	3.2	3.6	3.9	3.9

61. パワーハラスメントやセクシャルハラスメントと感じる行為を、目撃したり聞いたり体験したりしたことがある



《属性別》

○所属組織

	法務省	最高検	高検(8高検のいずれか)	東京高検管内の地検	大阪高検管内の地検	名古屋高検管内の地検	広島高検管内の地検	福岡高検管内の地検	仙台高検管内の地検	札幌高検管内の地検	高松高検管内の地検
平均値	3.1	2.8	3.1	2.8	3.2	2.6	3.0	2.8	2.7	2.9	3.1

○経験役職

	副部長(経験者)又は次席検事(経験者)以上	副部長又は次席検事未経験で勤務年数5年超	勤務年数5年以下
平均値	3.2	2.8	2.9

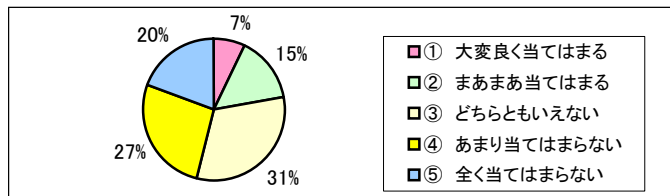
○特捜部勤務経験

	特捜部勤務経験なし	特捜部勤務経験3年未満	特捜部勤務経験3年以上6年未満	特捜部勤務経験6年以上
平均値	2.8	3.1	3.3	3.2

○全体

回答種別	割合
① 大変良く当てはまる	14.2%
② まあまあ当てはまる	30.2%
③ どちらともいえない	17.8%
④ あまり当てはまらない	25.3%
⑤ 全く当てはまらない	12.6%
平均値	2.9

62. パワーハラスメントやセクシャルハラスメントの被害を直訴すると、人事上の不利益を被る可能性があると感じる



《属性別》

○所属組織

	法務省	最高検	高検(8高検のいずれか)	東京高検管内の地検	大阪高検管内の地検	名古屋高検管内の地検	広島高検管内の地検	福岡高検管内の地検	仙台高検管内の地検	札幌高検管内の地検	高松高検管内の地検
平均値	3.9	4.3	3.6	3.2	3.4	3.1	3.3	3.4	3.1	3.5	3.5

○経験役職

	副部長(経験者)又は次席検事(経験者)以上	副部長又は次席検事未経験で勤務年数5年超	勤務年数5年以下
平均値	3.9	3.3	3.1

○特捜部勤務経験

	特捜部勤務経験なし	特捜部勤務経験3年未満	特捜部勤務経験3年以上6年未満	特捜部勤務経験6年以上
平均値	3.2	3.7	4.0	4.1

○全体

回答種別	割合
① 大変良く当てはまる	7.3%
② まあまあ当てはまる	14.9%
③ どちらともいえない	31.8%
④ あまり当てはまらない	26.6%
⑤ 全く当てはまらない	19.5%
平均値	3.4

質問	平均値	所属組織 (偏差)	経験役職 (偏差)	特捜部勤務 経験(偏差)
1. 日々の仕事において、自分は、事案の真相を明らかにし、刑罰法令を適正かつ迅速に適用実現することを第一の目的として判断や行動をしている	1.2	0.066	0.100	0.083
2. 自分の周囲の人たちは、事案の真相を明らかにし、刑罰法令を適正かつ迅速に適用実現することを第一の目的として熱心に仕事に取り組んでいる	1.4	0.076	0.022	0.060
3. 現在、自分が検察官であるということを、仕事以外の日常生活において、誇りを持って人々に話すことができる	1.8	0.141	0.106	0.104
4. 今の検察組織は、刑事司法のプロフェッショナルとして働く上で、魅力ある組織である	1.8	0.091	0.119	0.102
5. 日々の仕事の中で、検察官としての自己の判断より、組織や上司への忠誠が優勢になったことがある	3.6	0.173	0.279	0.267
6. 日々の仕事において、自分は、処罰すべき犯罪者を確実に処罰するという検察に対する社会の期待に応えることを強く意識して判断や行動をしている	1.5	0.068	0.103	0.068
7. 日々の仕事において、自分は被害者の気持ちに応えることを強く意識して判断や行動をしている	1.7	0.070	0.043	0.108
8. 検察官としての心構えについては、同じ考え方が組織の中で共有されている	2.0	0.080	0.097	0.138
9. 検察官としての心構えについて、職場であるいは上司から語られる機会が多い	2.0	0.086	0.156	0.116
10. 上司や幹部は、部下の報告や意見を真摯に受け止めてくれる	1.8	0.107	0.092	0.090
11. 上司や幹部の意見や判断には、学びや気づきが多く含まれている	1.6	0.095	0.114	0.056
12. 普段から立場の上下に関係なく異なる意見をぶつけあい、率直に議論している	2.0	0.117	0.196	0.212
13. 上司の方針や指示と異なる意見がある場合には、反対意見を述べている	1.9	0.176	0.248	0.212
14. 上司や幹部は、自らの判断に誤りがあると思えば、躊躇なく判断を変えている	2.2	0.092	0.128	0.117
15. 上司や幹部には、人間的な魅力を感じる人が多い	2.0	0.131	0.102	0.079
16. 上司や幹部はチームワークを重視し、互いに助け合い協力して仕事を進めるよう努力している	2.0	0.150	0.136	0.141
17. 上司や幹部は日常的に、部下の成長のために支援してくれる	1.9	0.138	0.156	0.109
18. 自分の上司は部下が苦境に陥った時、効果的に支援してくれる	1.9	0.124	0.100	0.122
19. 法と証拠に基づき立証可能かどうかの判断を、自分自身で的確にできているか、不安になることがある	2.9	0.262	0.500	0.518
20. 自分は取調べで、相手が真実を語っているのかどうかについて、的確な心証を得ることができている	2.3	0.148	0.268	0.195
21. 実際に自分で取調べをして得た心証が、それまでに想定されている事件の構図と違う場合、上司は自分の意見を尊重し真摯に議論してくれる	2.0	0.096	0.120	0.190
22. 自分は取調べに苦手意識がある	3.6	0.207	0.255	0.341
23. 捜査に当たり、IT技術の進歩による情報処理の変化を十分考慮した対応が、組織として行われている	3.1	0.198	0.127	0.092

質問	平均値	所属組織 (偏差)	経験役職 (偏差)	特捜部勤務 経験(偏差)
24. 自然科学や心理学の知見を活用できるように、組織として、これらの知見を蓄積するなどの体制を整備すべきだと思う	1.8	0.120	0.053	0.090
25. 一般的な常識や過去の事案の経験だけでは判断が難しい事案に対応することができるよう、日頃から、研修や勉強会などを通じて、組織として、専門的知見の収集が十分に行われている	2.6	0.216	0.149	0.095
26. 取調べ、証拠の分析、事実認定、立証可能性の吟味、証人尋問、起案、法律解釈・適用など、検察官に共通して求められる基本的能力が、一部の検察官において不足しているのではないかと不安になることがある	2.4	0.200	0.196	0.146
27. そのような基本的能力を若手に伝承するための、職場での日常的な指導や学習の機会が十分ある	2.6	0.101	0.132	0.140
28. 自分の周囲の同僚や先輩の仕事ぶりや意見を直接見聞きし、学ぶ機会が多い	2.0	0.147	0.155	0.055
29. 自分は検察官に共通して求められる基本的能力以外にも、特定分野についての検察官としての専門性の獲得に日頃から努めている	2.9	0.164	0.130	0.269
30. 自分は一年前と比較し、仕事を通じて成長していると実感する	2.2	0.123	0.084	0.034
31. 部長以上の幹部に登用される人は、それにふさわしい人たちである	2.4	0.100	0.119	0.097
32. 現在の直属上司かどうか別として、自分としてついていきたいと思う幹部がいる	1.7	0.157	0.062	0.109
33. 異動や転勤は、本人の適性や能力を十分考慮して行われている	2.6	0.137	0.159	0.144
34. 人事考課では自分の実績や仕事ぶりが適正に評価されている	2.4	0.156	0.150	0.300
35. 自分が起訴し又は公判を担当した事件が無罪になると、自分のキャリアにとってマイナスの影響があると感じる	3.1	0.159	0.263	0.195
36. 個人の事情がどうあれ、検察官という仕事に頻繁な異動や転勤が伴うことはやむを得ない	2.0	0.177	0.159	0.188
37. 昇進や人事考課の判断は、上司との人間関係や上司の好き嫌いなど恣意的な要素による影響を受けていない	2.7	0.114	0.102	0.202
38. 検察の組織では、女性検事が活躍するのに障害となる要素が多い	3.2	0.143	0.128	0.176
39. 自分は将来検察庁の最高幹部になりたいと思う	3.6	0.273	0.139	0.106
40. 同期の検事の異動先や職務内容等が気になる	2.8	0.153	0.095	0.178
41. 自分のキャリアは最後まで検察の分野で築いていきたいと思う	2.2	0.213	0.229	0.272
42. 検察官以外の多様な経験をすることは、検察官のキャリア形成に役立つと思う	1.7	0.131	0.084	0.090
43. 自分は独立して弁護士となっても、十分やっていけると思う	2.6	0.148	0.140	0.236
44. 自分は、捜査過程のそれぞれの時点における事件の見立てに即した立証可能性の追求やその補強的な積極証拠の収集だけでなく、事件の見立てと異なる真実の可能性の追求、消極証拠の尊重も十分意識し、重視している	1.5	0.098	0.214	0.127
45. 事件についての上司や幹部の見立てとは矛盾する供述や証拠についても、積極的に上司や幹部に報告している	1.5	0.111	0.174	0.119
46. 上司や幹部の判断に納得できないときは、粘り強く意見具申している	2.1	0.213	0.289	0.252

質問	平均値	所属組織 (偏差)	経験役職 (偏差)	特捜部勤務 経験(偏差)
47. 上司や幹部は、決裁などの場面で、供述ばかりでなく物的証拠による裏付けを強く求める	1.5	0.131	0.050	0.063
48. 適正な業務を遂行するためには、自分の担当業務量が多すぎると感じることもある	2.6	0.241	0.287	0.393
49. 土日に休みが取れないことが日常的にある	2.6	0.437	0.573	0.304
50. 適正な業務を遂行するためには、現在の検察組織全般において、人員が不足していると感じることがある	1.8	0.220	0.092	0.090
51. メンタルヘルスの問題や心の疲弊は他人事ではなく、自分も同じような危機を感じている	3.1	0.258	0.324	0.356
52. 実体的真実の究明が検察官の使命の一つであると考えているが、近年の捜査・刑事司法を取り巻く環境の変化により、捜査の中心的手法である取調べを通じて被疑者や参考人から供述を得ることが困難になってきていると感じる	1.8	0.181	0.267	0.176
53. 実体的真実の究明のため、今後、取調べ以外の捜査手法を充実させる必要があると思う	1.5	0.090	0.140	0.071
54. 検察官が独任制官庁であることと検察官一体の原則が、現在の検察組織において、うまく両立されている	2.4	0.108	0.159	0.152
55. 取調べについて、供述人の実際の供述とは異なる特定の方向での供述調書の作成を指示されたことがある	3.6	0.206	0.224	0.122
56. 今まで自分が作成した供述調書が、公判でその任意性、特信性を否定され、証拠採用されなかったことがある(イエスカ・ノーかの2者択一)	2.0	0.023	0.021	0.049
57. 共同捜査においては、他の関係者の供述内容や供述調書について、上司から教えられたり同僚と共有したりしている	1.7	0.147	0.098	0.093
58. 任意性、特信性に問題が生じかねない取調べであると感じる事例を周囲で見かけたり、聞いたりすることがある	3.3	0.158	0.134	0.075
59. 公益通報者保護法に基づく内部通報制度がどのような制度か良く知っている	3.0	0.400	0.485	0.462
60. 不正行為を内部通報したり幹部に直訴した人は、人事上の不利益を被る可能性があると感じる	3.3	0.287	0.288	0.299
61. パワーハラスメントやセクシャルハラスメントと感じる行為を、目撃したり聞いたり体験したりしたことがある	2.9	0.178	0.156	0.177
62. パワーハラスメントやセクシャルハラスメントの被害を直訴すると、人事上の不利益を被る可能性があると感じる	3.4	0.323	0.340	0.320

意識調査（自由記入欄）における主な意見

※【 】内の数字は、同旨意見数。

1 検討会議に対する意見

- ・ 検討会議には、改善すべき問題点を率直に指摘してもらおうよう期待している。【43】
（例）検察は今回の一連の事態を踏まえて反省すべきである。検察には改善すべき問題点が多い。検討会議には、職員が誇りを持って仕事ができるような提言をしてほしい。
- ・ 捜査の実情や刑事司法制度全体を踏まえた建設的な議論、提言をお願いしたい。【41】
（例）広い視野に立って、あるべき検察組織の在り方や捜査の在り方について議論してほしい。刑事司法制度全体を見直すことも含めて議論・検討してほしい。捜査の実情を十分に把握した上での議論をお願いしたい。
- ・ 刑事訴訟の目的や治安維持の観点を無視した一方的な意見が述べられている。【35】
（例）捜査・公判の実情を無視し、取調べの可視化など特定の主張を繰り返している委員がいる。刑事司法制度全体を見据えた議論がなされていない。検察叩きや検察の弱体化などを狙ったとしか思えない意見が出されている。

2 最高検検証結果に対する意見

- ・ 一連の事態は、個人ではなく、組織自体の問題が原因で発生したものである。【16】
（例）大阪地検の事件は、個人の資質が原因で起きたものではない。組織に問題があったために生じたものであり、決裁制度や人事配置に原因があったと考えられる。
- ・ 検証結果を読んでも事実関係がよく分からず、検討が不十分である。【33】
（例）関係者から聴取をしていない点で問題である。全体的に検討が不十分であると感じる。
- ・ 関西検察（大阪地検）だけの問題ではない。【30】
（例）大阪地検（特捜部）だけの問題ではなく、全国の検察庁でも起こり得ると考えられる。関西を中心に異動する検事が多いことと今回の問題とは関係がない。
- ・ 検証結果の再発防止策には問題があるものもある。【18】
（例）上級庁の関与が強まることになったが、重疊的な決裁となって現場の検事の負担が増加し、捜査への影響もあると思われる。
- ・ 検証結果の内容は評価できる。【25】
（例）検察の問題点が正しく指摘されていると思う。短期間でよく分析したものとする。再発防止策に従って信頼回復に努めたい。

3 捜査・公判等に関する意見

- ・ 取調べの全面的な可視化を導入するのであれば、刑事免責等の新たな捜査手法を導入すべきである。【106】
- ・ 供述に頼らない捜査を求めるのであれば、主観的要素を不要とするなど、刑事実体法の規定を見直すべきである。【36】
- ・ 取調べの可視化は、取調べが持つ機能を大きく害するものであり、現在行われている一部の録音録画を超えて、全過程の録音録画を行うことはすべきでない。【55】
- ・ 適正な取調べが行われていることを証明するためにも、取調べの全面可視化を行うべきである。【11】

4 その他

- ・ 人事に問題がある。【54】
(例) 幹部や決裁官の中には、その立場にふさわしくない人がおり、人事評価や人事配置に疑問を持っている。人事評価に当たっては、同僚・部下からのものも含め、多角的、複眼的に行うべきである。
- ・ 幹部の意識に問題がある。【81】
(例) 組織の風土を変えるには、幹部の意識変革が重要であり、幹部研修を充実すべきである。幹部の中には、苦勞を十分に把握しないまま、頭ごなしの物言いをする者がいる。
- ・ 業務の負担が大きい。【92】
(例) 検察の仕事に誇りを持って、どんな事件でも真面目に取り組んでいるが、裁判員裁判の導入等により業務量が増大していて、心身共に負担が大きい。深夜までの勤務や休日出勤を繰り返している。
- ・ 今回の意識調査は、質問の意味が分かりにくいなどの問題がある。【23】
(例) 5択では答えにくい質問が多い。答を一定方向に誘導する質問がある。この回答から自分の真意を把握してもらえぬか不安である。漠然とした内容であり、これに基づいて、正確に検察官の意識調査を図ったなどと言うのはやめてほしい。